資料５－２

令和２年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

目　次

①　みえ森と緑の県民税基金積立金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・2

②　災害に強い森林づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

ア．災害緩衝林整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

イ．土砂・流木緊急除去事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

③　森林情報基盤整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

④　森を育む人づくり推進事業

ア．森を育む人づくりサポート体制整備事業・・・・・・・・・・・・・17

イ．森林環境教育・木育拠点整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・27

ウ．森林とふれあう自然公園環境整備事業・・・・・・・・・・・・・・31

⑤　生物多様性推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

⑥　みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業・・・・・・・・・・41

⑦　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業

ア．流域防災機能強化対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51

イ．森林再生力強化対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

⑧　みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業

ア．災害からライフラインを守る事前伐採事業【新規　・・・・・・56

⑨　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業・・・・・60

⑩　みえ森と緑の県民税制度運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・68

令和２年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

積立総額【決算額　－　円】（予算額 1,097,538,000円）

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業【決算額　－　円】（予算額 1,097,538,000円）

取崩総額【決算額　－　円】（予算額 1,111,382,000円）

② 災害に強い森林づくり推進事業費【決算額　－　円】（予算額 380,000,000 円）

ア．災害緩衝林整備事業【決算額　－　円】（予算額 319,993,000 円）

イ．土砂・流木緊急除去事業【決算額　－　円】（予算額 60,007,000円）

③ 森林情報基盤整備事業【決算額　－　円】（予算額 90,243,000円）

④ 森を育む人づくり推進事業費【決算額　－　円】（予算額 95,823,000円）

ア．森を育む人づくりサポート体制整備事業【決算額　－　円】（予算額 34,233,000円）

イ．森林環境教育・木育拠点整備事業【決算額　－　円】（予算額 48,334,000円）

ウ．森林とふれあう自然公園環境整備事業【決算額　－　円】（予算額13,256,000円）

⑤ 生物多様性推進事業【決算額　－　円】（予算額 3,996,000円）

⑥ みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業【決算額　－　円】（予算額3,570,000円）

⑦ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業
【決算額　－　円】（予算額 161,599,000円）

ア．流域防災機能強化対策事業【決算額　－　円】（予算額 125,799,000円）

イ．森林再生力強化対策事業【決算額　－　円】（予算額 35,800,000 0 円）

⑧ みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業【決算額　－　円】（予算額 10,000,000円）

⑨ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業
【決算額　－　円】（予算額 356,151,000円）

⑩ みえ森と緑の県民税制度運営事業【決算額　－　円】（予算額 10,000,000円）

※二重線の囲みの単位で、「令和２年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート」を作成しています。

令和2年度　災害に強い森林づくり推進事業実施予定箇所一覧表

1. 災害緩衝林整備事業

令和2年12月31日現在

番号	箇所番号	調査箇所			危険木除去 (m)	緩衝林整備 (ha)	実施予定額 (千円)	備考 (進捗状況)
		市町	大字	字				
1	四-1	鈴鹿市	西庄内町	池ノ谷	200	5.68	6,270	施工中
2	四-2	亀山市	加太向井	柚ノ木	320	5.30	9,380	施工中
3	四-3	亀山市	加太梶ケ坂	虻谷	320	3.89	7,331	施工中
4	津-1	津市	白山町福田山	附田	553	2.28	14,762	施工中
5	津-2	津市	美杉町下之川	大谷	1,100	4.58	15,385	施工中
6	津-3	津市	白山町小杉	樋ノ口	498	1.24	10,946	完成
7	松-1	松阪市	小片野町	井口	230	0.88	3,641	完成
8	松-2	松阪市	後山町	下ノ古城	180	1.37	3,491	完成
9	松-3	松阪市	飯南町横野	長谷	180	2.16	7,465	施工中
10	松-4	松阪市	飯南町上仁柿	平谷	390	2.88	12,275	施工中
11	松-5	多気町	長谷	柿木谷	140	0.76	3,378	施工中
12	松-6	多気町	神坂	門田	180	0.18	11,856	施工中
13	松-7	大台町	唐樋	横谷	120	2.57	7,233	完成
14	松-8	多気町	長谷	柿木谷2	220	2.08	5,605	施工中
15	松-9	松阪市	飯南町上仁柿	平谷2	100	3.76	4,774	施工中
16	伊-1	南伊勢町	伊勢路	セトダニ	520	6.36	8,492	施工中
17	伊-2	大紀町	大内山	今瀬谷	240	5.76	6,636	施工中
18	伊-3	大紀町	大内山	錦谷	620	7.51	9,314	施工中
19	上-1	伊賀市	上阿波	奥那須ヶ原	680	6.15	10,714	完成
20	上-2	伊賀市	奥馬野	下馬野	80	2.50	3,488	完成
21	上-3	伊賀市	島ヶ原	観節	425	8.22	10,120	施工中
22	上-4	伊賀市	高尾	奥出	500	8.69	13,530	施工中
23	尾-1	尾鷲市	早田町	矢瀬	500	1.53	6,960	施工中
24	尾-2	紀北町	島原	柚原	790	3.78	11,495	施工中
25	尾-3	尾鷲市	南浦	小原野奥石谷	-	1.00	2,124	施工中
26	尾-4	尾鷲市	三木里町	定山	600	1.58	5,381	施工中
27	熊-1	熊野市	井戸町	鷲ノ谷	650	5.87	12,122	準備中
28	熊-2	熊野市	紀和町矢ノ川	後地	450	6.20	17,389	施工中
29	熊-3	紀宝町	高岡	蛇崩	130	0.89	1,968	準備中
30	熊-4	紀宝町	鮒田	茶木原	294	1.96	3,341	施工中
計	30箇所	13市町			11,210	107.61	246,866	

2. 土砂・流木緊急除去事業

番号	箇所番号	調査箇所			土砂撤去 (m3)	流木撤去 (m3)	実施予定額 (千円)	備考
		市町	大字	字				
1	松-1	松阪市	飯高町舟戸	大崩	1,079.0	0.3	8,732	施工中
2	松-2	大台町	桧原	東又谷	3,668.0	-	15,956	施工中
3	上-1	名張市	青蓮寺	青蓮寺山	0.0	91.0	6,600	施工中
4	尾-1	紀北町	島勝浦	中熊	88.0	-	1,540	完成
計	4箇所	4市町			4,835.0	91.3	32,828	

災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある渓流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、①渓流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する渓流沿いの森林整備、③倒木や土砂の渓流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある治山施設等に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

Ⅰ　災害緩衝林整備事業

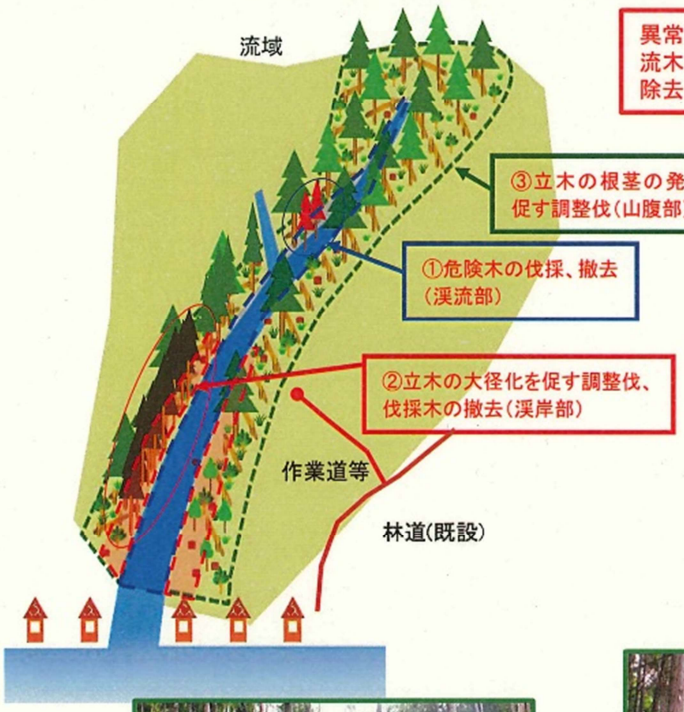
①渓流部において、流木になる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」

②①の周辺渓岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」

③①②の周辺山腹部において、渓流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根系の発達を促す調整伐」

Ⅱ　土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況

整備後の森林状況（紀宝町内）

災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある渓流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①渓流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する渓流沿いの森林整備、③倒木や土砂の渓流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

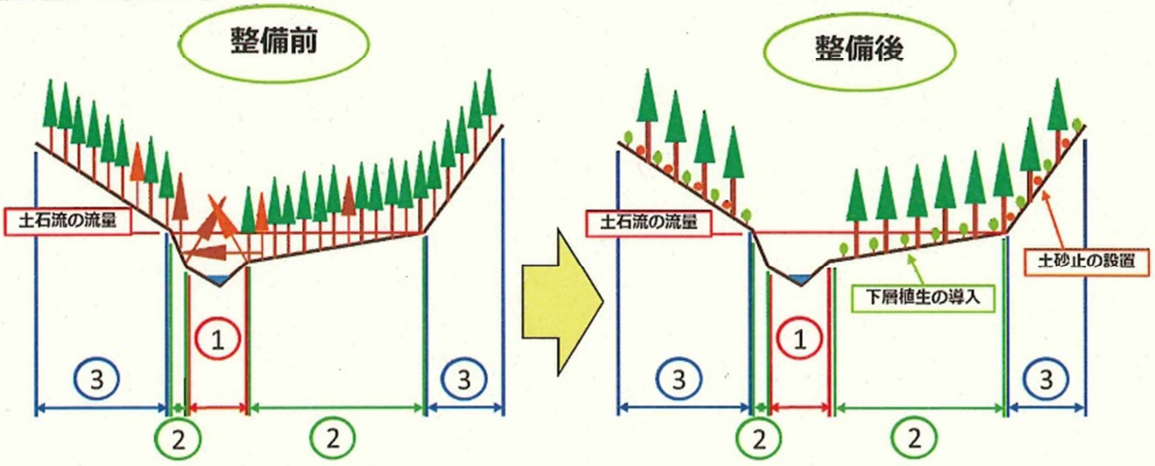
＜整備前の森林の状態＞

- 流出する恐れのある危険木が存在
- 間伐不足で過密小径な林分
- 下層植生がみられず表土が流出

＜整備区分　青字：立地環境　赤字：整備内容＞

- ①渓流部で危険木の除去⇒流木発生抑制
- ②渓岸部で調整伐による立木の大径化促進⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝
- ③山腹部で調整伐による根系の発達促進、土砂止の設置⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制

【整備区分横断図】



① 渓流部　② 渓岸部　③ 山腹部

令和2年度 災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例1　伊賀市（下馬野）

渓流部【整備前】

渓流部【整備後】

渓岸部【整備前】

渓岸部【整備後】

山腹部【整備前】

山腹部【整備後】

令和2年度 災害緩衝林整備事業 整備箇所

事例2　大台町（横谷）

渓流部【整備前】

渓流部【整備後】

渓岸部【整備前】

渓岸部【整備後】

山腹部【整備前】

山腹部【整備後】

令和2年度 第3回評価委員会資料

令和2年度 災害に強い森林づくり推進事業
効果検証にかかる調査・研究事業　（林業研究所）

事業目的と検証事項

□ 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して

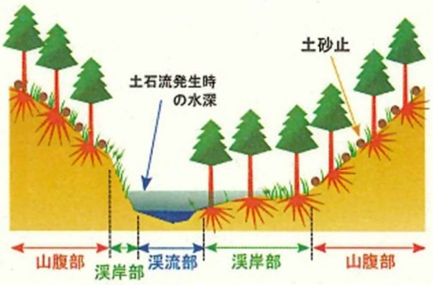
効果検証が必要な事項
・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？　・・項目1
・立木の成長は促進されるか？　・・項目2

□ 渓岸部・・・調整伐による立木の成長の促進に対して

効果検証が必要な事項
・立木の成長は促進されるか？　・・項目2

□ 渓流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して

効果検証が必要な事項
・流木発生抑制効果は持続しているか？・・項目3



効果検証にかかる調査・研究

項目1　樹木根系による斜面安定効果調査

根系発達による斜面安定効果を検証するために

① 根系分布調査、根系引き抜き試験により、崩壊防止力ΔCを把握
② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握

調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置

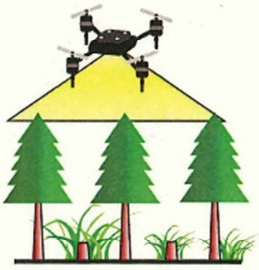
根系の分布調査及び引き抜き試験、土砂流亡量の継続調査

項目2　UAV（ドローン）を用いた森林モニタリング調査

成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握

調整伐実施後の状態変化を調査



項目3　整備森林における危険木発生状況調査

危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した渓流での流木等危険木発生状況を把握

危険木除去

現状？

項目1　樹木根系による斜面安定効果調査（R1～5）

目的

①**根系による崩壊防止力の把握**・・・山腹部における調整伐実施による斜面安定効果（樹木根系の支持機能向上）を明らかにする。
②**土砂流亡量の継続調査**・・・調整伐実施、土砂止設置による土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法

①根系引き抜き試験や事業実施地等における根系分布調査を行うことで、根系による表層崩壊防止力ΔCを検証する。
②平成27～29年度に土砂流亡量の観測を行った試験地の一部で土砂流亡量の継続観測を行い、土砂流亡抑制効果の持続期間を検証する。三重大学との共同研究で実施する。

これまでに実施した内容

①津市内において、スギ生立木5本、ヒノキ生立木3本を選定して根元周囲の根系を露出させ、スギ43本、ヒノキ54本の根系に対して引き抜き試験を行った（図-1）。根直径が太いほど引き抜き抵抗力、引き抜き変位（引き抜き抵抗最大時の引き抜き長さ）が大きくなる傾向がみられた（図-2）。また、大台町内の2カ所で調整伐実施地と未実施地において計12断面の根系分布調査を行った（図-3）。
②県内3カ所の試験地において、土砂受け箱内に入った土砂を2カ月おきに調査することで土砂流亡量の観測を行った（図-4）。調整伐後の林床被覆率上昇に伴う土砂流亡量の減少傾向が持続していた（図-5）。

今年度の今後の予定

①引き続き、根系引き抜き試験（間伐木）、調整伐実施地と未実施地における根系分布調査を行う。得られたデータから根系による表層崩壊防止力ΔCを算出し、調整伐の効果を検証する。
②土砂流亡量の観測を継続するとともに、得られたデータの解析を行い、土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

図-1. 根系引き抜き試験

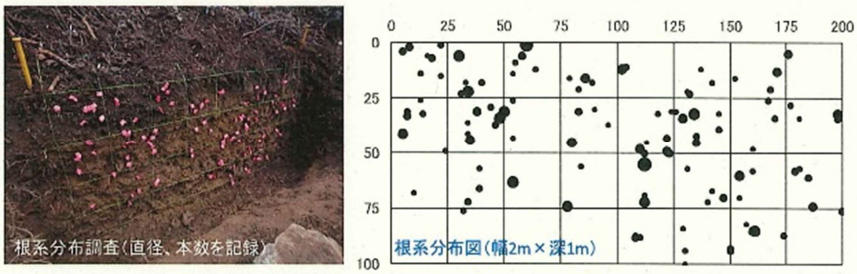


図-3. 根系分布調査（大台町ヒノキ林）

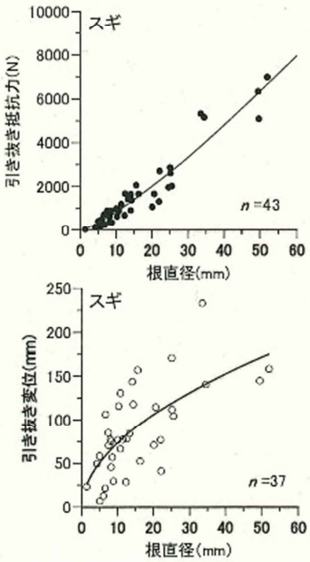
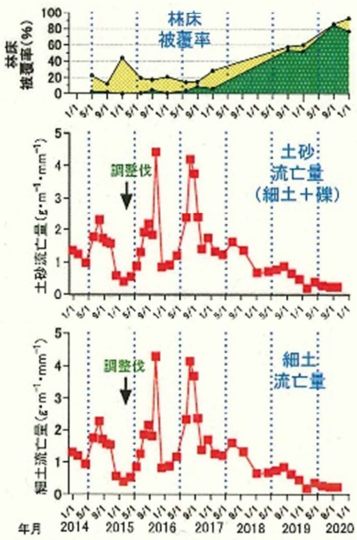


図-2. 根直径と引き抜き抵抗力、引き抜き変位の関係（スギ）

土砂受け箱

土砂分類（乾燥後に分類・重量測定）

図-4. 土砂流亡量の調査方法



林床被覆の変化（白山ヒノキ箱401の例）

図-5. 林床被覆率と土砂流亡量の経年変化（白山試験地ヒノキ）

項目2　UAVを用いた森林モニタリング調査（R1～5）

目的

山腹部、渓岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を明らかにする。

方法

平成26年度より、航空レーザ測量データを用いて調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしている。UAV（ドローン）を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。そのため、UAVから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し、UAVを用いて既に設定したモニタリング区域の一部、他の事業実施地において、調整伐後の森林状態を複数年追跡調査することで、調整伐実施の効果を引き続き検証する。名古屋大学との共同研究で実施する。

これまでに実施した内容

平成26年度設定モニタリング区域内（大台町）に設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地3カ所に設定した空撮区域において、昨年度検討した最適空撮条件（Mavic2pro、重複率90%）で空撮を行った（図-6、7）。新たに津市内に空撮区域を設置して、調整伐前の空撮を行った（図-7）。同時に、各空撮区域内において、精度検証データ取得のため現地で立木の実測調査を行った。得られたデータは共同研究先の大学に提供し、空撮画像解析、森林情報解析技術の開発に取り組んだ（図-8、9）。

今年度の今後の予定

引き続き、設定した空撮区域において定期的にUAV空撮、現地実測調査を行う。得られたデータを用いて森林情報解析技術の開発を行う。

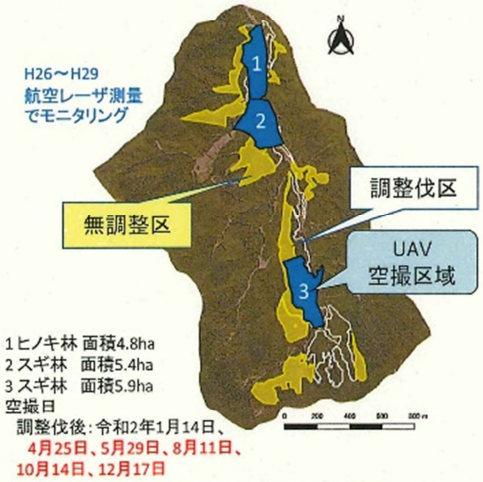


図-6. H26設定モニタリング区域内に設定した空撮区域と概要

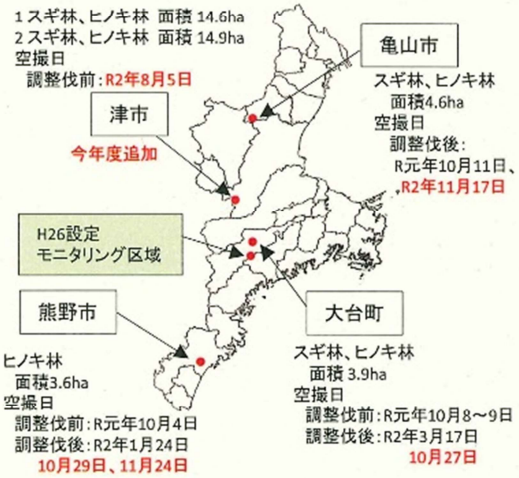
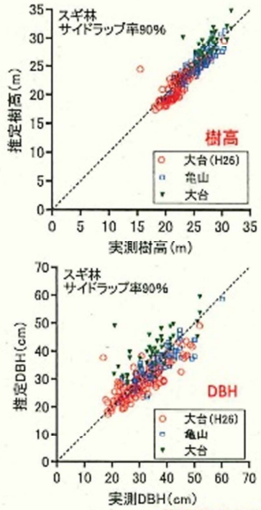


図-7. 空撮区域の位置と概要



推定精度を改善中

図-8. 推定精度の検証（スギ林）

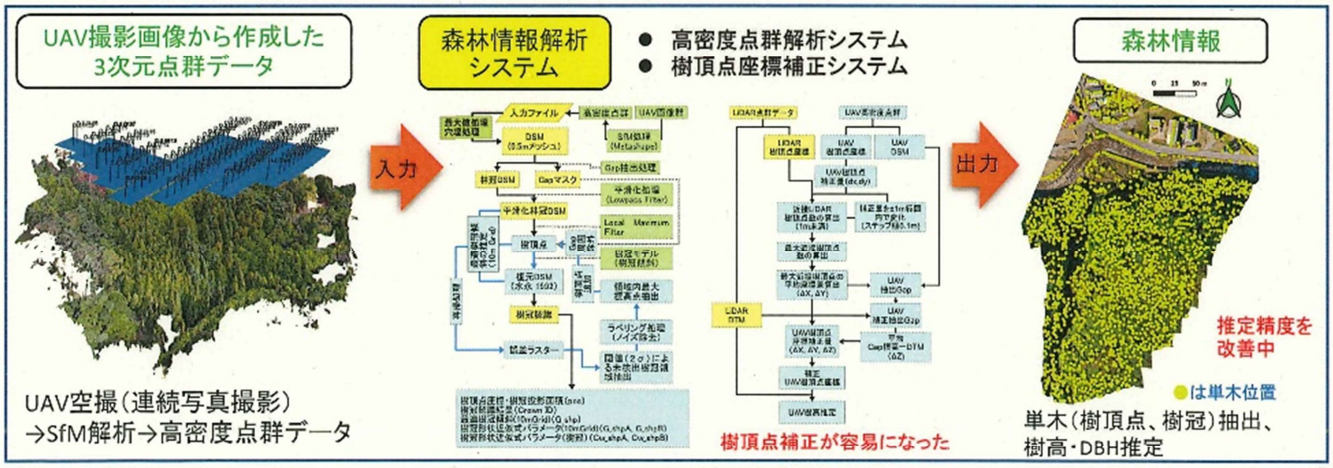


図-9. 開発中のUAVによる森林情報解析技術

項目3　整備森林における危険木発生状況調査（R1～5）

目的

渓流部で実施している危険木（倒流木）除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法

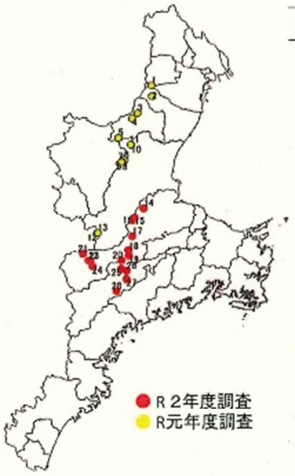
事業により渓流部の危険木除去を行った渓流（既整備渓流）における倒流木発生の現況について多点調査を行う。また、より効果的で除去効果の持続性も高い整備手法を検討するには、倒流木の発生要因、滞留状況、形態的特性、豪雨等に伴う挙動を明らかにする必要があることから、既整備渓流、未整備渓流に固定試験地を設定して倒流木の移動、加入、消失等のモニタリングを行う。三重大学との共同研究で実施する。

これまでに実施した内容

平成26、27年度に渓流部の危険木除去を行った松阪市と大台町内15箇所の既整備流域、計9530mで渓流部の踏査を行い、倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した（図-10、11）。また、昨年度に設定した固定試験地（既整備渓流4、未整備渓流1）に加え、新たに1つの未整備渓流に、固定試験地を設定し、設定時に倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した（図-12）。

今年度の今後の予定

引き続き、平成26、27年度の既整備流域を対象に渓流部の踏査を行う。これまでに設定した4つの既整備渓流、2つの未整備渓流の固定試験地において追跡調査を行い、危険木の消長、移動状況を調査する。得られたデータの解析を行う。



No	整備年度	市町名	調査延長	調査年度
1	H26	亀山市	230m	R元
2	H26	津市	420m	R元
3	H26	津市	180m	R元
4	H26	津市	250m	R元
5	H27	鈴鹿市	120m	R元
6	H27	亀山市	400m	R元
7	H27	四日市市	340m	R元
8	H27	亀山市	370m	R元
9	H27	津市	110m	R元
10	H27	津市	350m	R元
11	H27	津市	900m	R元
12	H27	津市	80m	R元
13	H27	津市	200m	R元
14	H26	松阪市	250m	R2
15	H26	松阪市	180m	R2
16	H26	松阪市	270m	R2
17	H27	松阪市	430m	R2
18	H26	松阪市	780m	R2
19	H27	松阪市	320m	R2
20	H27	松阪市	1000m	R2
21	H27	松阪市	410m	R2
22	H27	松阪市	480m	R2
23	H27	松阪市	460m	R2
24	H27	松阪市	320m	R2
25	H27	大台町	990m	R2
26	H27	大台町	1490m	R2
27	H27	大台町	1300m	R2
28	H26	大台町	850m	R2

図-10. 既整備流域の多点調査位置

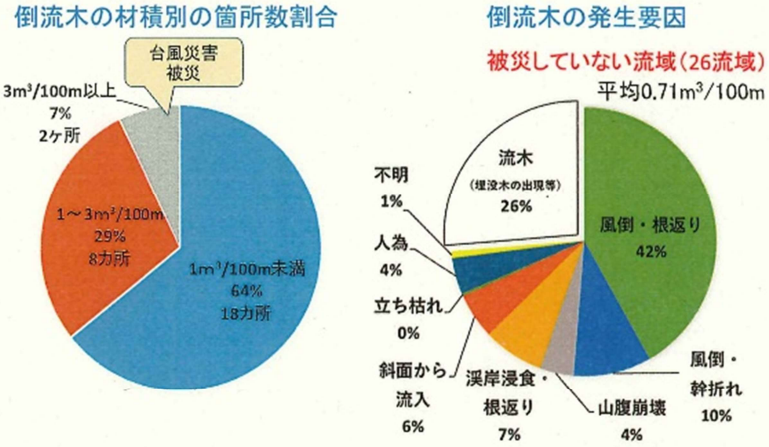
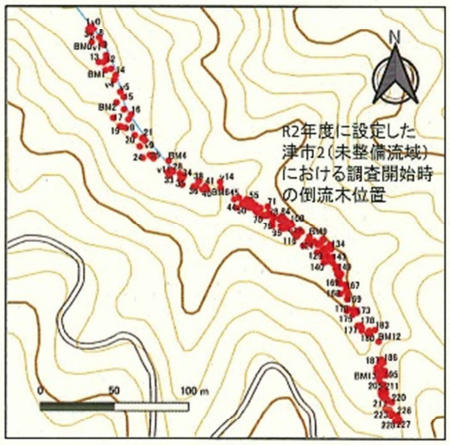


図-11. 既整備流域の多点調査における倒流木の材積、発生要因



	市町名	調査区間延長	平均勾配	集水面積	調査開始時の倒流木量 倒木		流木	
		m	°	ha	m³/100m	本/100m	m³/100m	本/100m
既整備流域(R元年度設置)	亀山市	559	4.9	108.1	0.26	5	0.19	8
既整備流域(R元年度設置)	松阪市	324	13.4	27.2	0.62	1	0.46	11
既整備流域(R元年度設置)	大台町	673	7.0	53.2	0.60	1	0.05	1
既整備流域(R元年度設置)	伊賀市	506	7.3	15.7	0.01	0	0.16	8
未整備流域(R元年度設置)	津市1	745	11.5	30.6	3.21	24	1.06	16
未整備流域(R2年度設置)	津市2	368	10.0	18.3	2.68	40	0.59	23

図-12. 固定試験地の位置と概要

令和２年度 土砂・流木緊急除去事業 整備箇所

事例３　　紀北町（中熊）

【整備前】

【整備後】

【整備前】

【整備後】

県庁舎及び市町庁舎等のＰＲパネル展示状況

三重県立図書館

尾鷲庁舎

伊賀庁舎

土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある渓流沿いの森林を対象に、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものを撤去します。

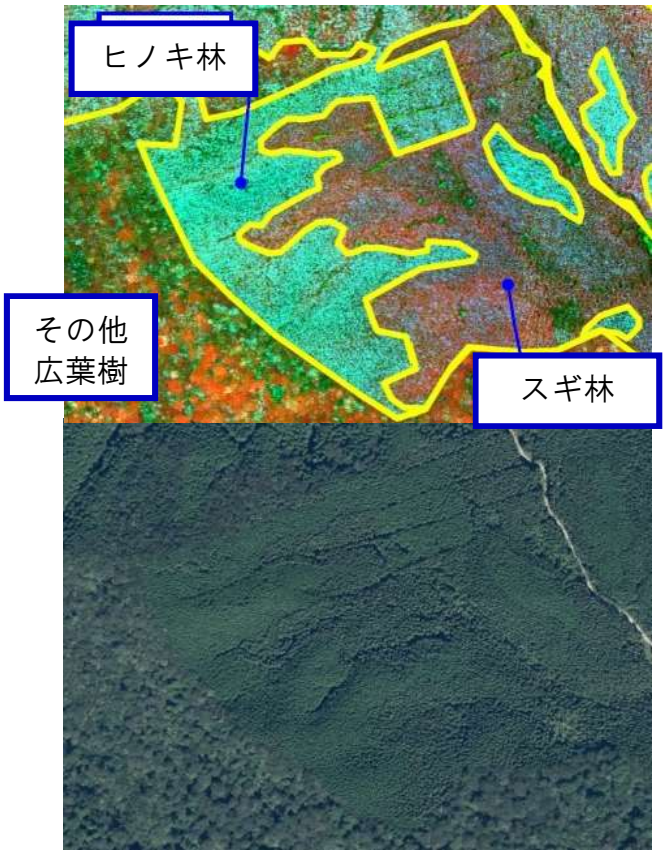
治山施設に異常に堆積した流木

流木撤去後（大台町）

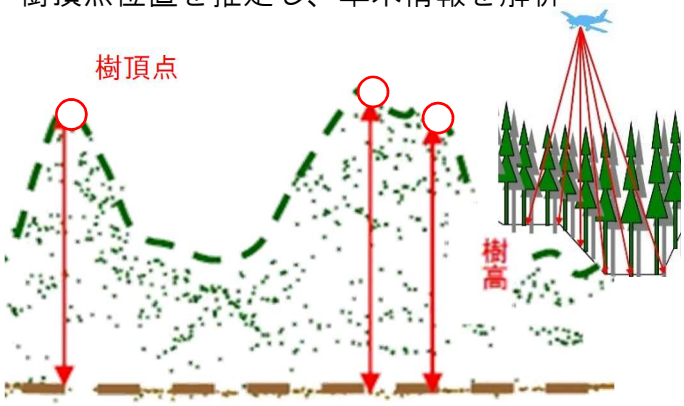
森林情報基盤整備事業

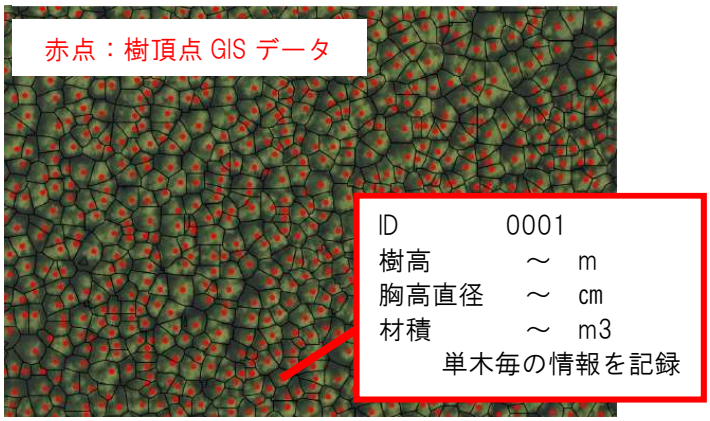
樹種や樹高、立木密度、材積等の森林資源情報を正確に把握することは、森林整備を行ううえで重要であるとともに、精度の高い３次元地形データを取得することにより、災害発生の危険性の高い地域等を効率的に把握することが可能となることから、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施します。

① レーザ反射強度を利用し、樹種を分類



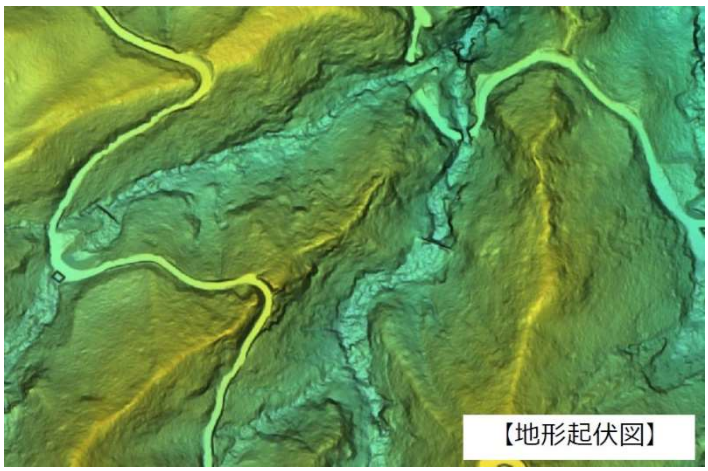
② 樹頂点位置を推定し、単木情報を解析





③ 単木情報を林分ベースで集約

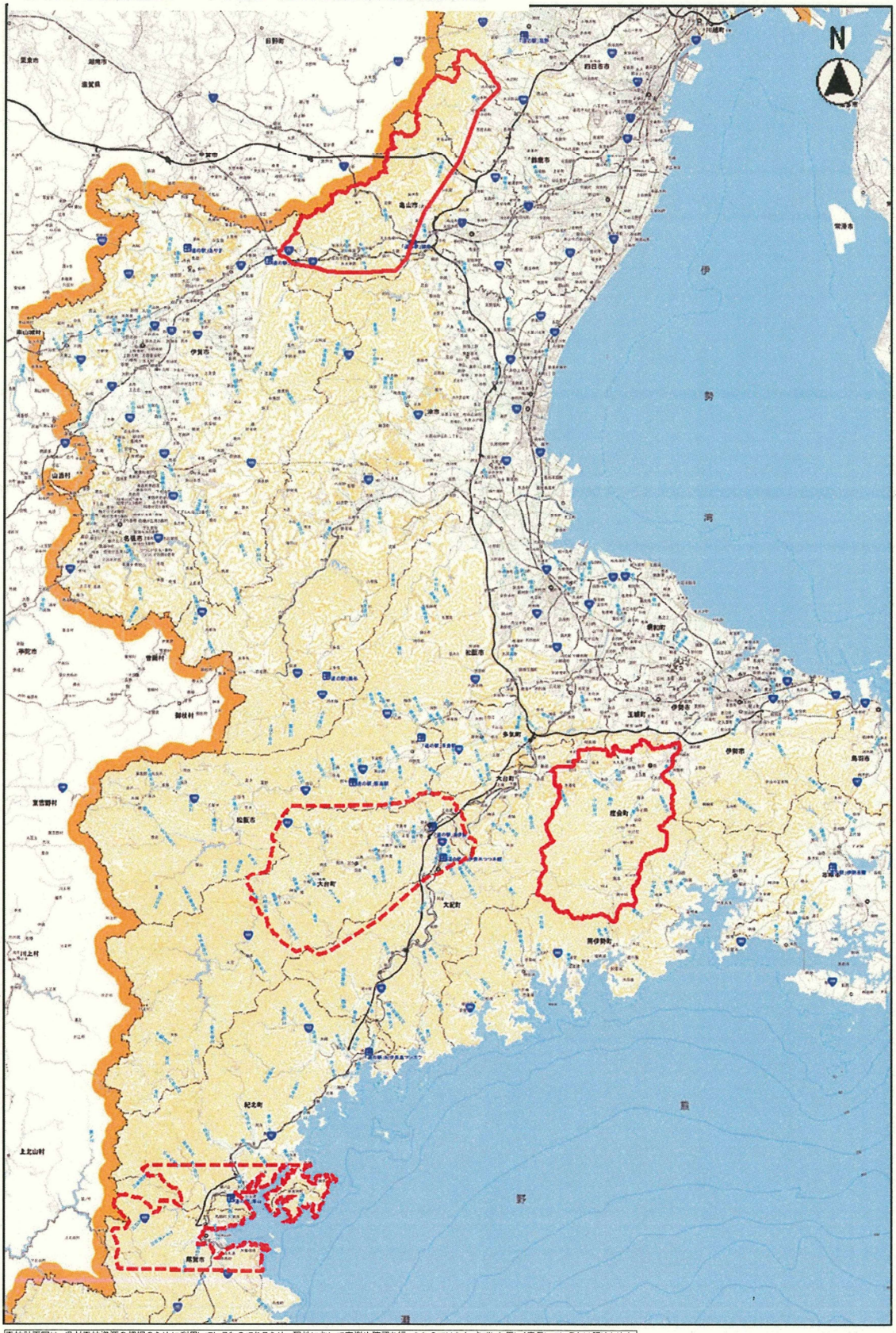
④ 詳細な地形情報を取得



⇒これらの森林情報を活用することで、森林整備を優先的に実施すべき林分の把握や詳細な微地形情報により、表面浸食や流木発生等が懸念される箇所等の抽出が可能

図はみえ森林・林業アカデミー第４回公開講座資料より抜粋

令和2年度航空レーザ測量・森林資源解析実施状況



森林計画図は、県が森林資源の把握のために利用しているものであるため、現地において実測や確認を行ったものではなく、必ずしも正しく表示しているとは限りません。
森林計画図は、県が森林資源の把握のために利用しているものであるため、現地において実測や確認を行ったものではなく、必ずしも正しく表示しているとは限りません。
この地図は、三重県市町総合事務組合が所管する「三重県共有デジタル地図(数値地形図2500(道路縁1000)、写真地図地上解像度20cmまたは40cm)」の使用承認を得て、三重県森林資源情報管理システム(森林クラウド)で作成しています。(承認番号：R1.11.20三総合地第188号)

縮尺 1：450000

5000 2500 0 5000 10000

森を育む人づくりサポート体制整備事業

令和２年12月末現在

１．事業の目的

「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、活動の基盤となる指導者の一定水準の知識・技術の習得を目指した育成を行うとともに、森林環境教育や木育、森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、活動にかかるコーディネートや相談対応、情報収集・発信、普及啓発、教材の提供、道具の貸出等を行い域や学校等で行われる当該取組を支援しています。

２．令和２年度の進捗状況

（１）みえ森づくりサポートセンターの運営

地域で行う森林環境教育･木育や森づくり活動の促進を図るため、総合窓口として津市白山町の林業研究所内に設置した「みえ森づくりサポートセンター」を運営しました。

① 相談対応、情報発信

市町や学校、森林環境教育指導者（森のせんせい）等からの森林環境教育・木育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林環境教育・木育に関する情報収集と発信、普及啓発を行っています。

内 容	件数	調整・連携の相手
森林環境教育･木育に関する 相談対応	1582	県･市町726、学校等276、 森のせんせい307、その他273
森づくり活動に関する 相談対応	37	県・市町1、森づくり活動団体21、 森のせんせい6、その他 9
森林環境教育･木育に関する情報の 収集及び発信	・森林づくりニュース発行（年4回） ・メールマガジン発行（月1回） ・ホームページ運営、 Facebook、Instagramによる発信	

（翌月集計のため、表中数字はいずれも12月末までの実績）

② 指導者の育成

学校や地域での森林教育の取組が幅広く推進されるよう、指導者の技術力向上のため複数の講座・研修を実施し、学校等の幅広い要求に対応可能な一定レベル以上の指導者の育成を行っています。

令和元年度に創設した、市町の特性や地域の課題を踏まえた地域講座をこれまでに5回、既に森のせんせいとして活動されている方の知識、技術のレベルアップを図る森のせんせいスキルアップ講座をこれまでに3回実施しました。

指導者養成講座実施計画及び実績

開催日	講座名	開催場所	募集人数	受講人数
森林環境教育指導者養成講座				
令和2年 7月11日（土）	地域講座（四日市地域） 森林環境教育指導者養成講座 （アクティブラーニング）	三重県四日市庁舎 （四日市市）	15名	20名
令和2年 8月29日（土）	地域講座（伊賀地域） 木育指導者初級研修	三重県上野森林公園 （伊賀市）	10名	10名
令和2年 11月7日（土） 11月29日（日） （2日間）	地域講座（尾鷲・熊野地域） 森林環境教育指導者養成講座（技術編）	紀南ツアーデザインセンター、松本峠付近 （熊野市）	10名	6名
令和2年 12月19日（土）	地域講座（尾鷲・熊野地域） クッブ普及指導員養成講座	三重県立熊野古道センター（尾鷲市）	20名	10名
令和2年 12月20日（日）	地域講座（伊勢志摩地域） 森林環境教育指導者養成講座 （田丸城の森のスペシャリストになろう！）	玉城町立田丸保育所、田丸城跡（玉城町）	20名	21名
令和3年 2月	地域講座（松阪地域） 森林環境教育指導者養成講座（知識編）	飯高方面	10名	未実施
令和3年 3月13日（土）	地域講座（伊勢志摩地域） 森林環境教育指導者養成講座	未定	未定	未実施
未定	地域講座（津地域）	未定	10名	未実施
森のせんせいスキルアップ講座				
令和2年 9月12日（土） 9月13日（日） （2日間）	幼児を対象としたインタープリテーション	天満荘（尾鷲市）	20名	10名
令和2年 9月19日（日）	木育指導者中級研修	三重県生涯学習センター （津市）	10名	15名
令和2年 11月7日（土） 11月8日（日） （2日間）	LEAF ローカルインストラクター研修	松阪市森林公園 （松阪市）	10名	7名

森林環境教育指導者養成講座（技術編）
自然観察を通じ自然と人を結ぶインタープリテーションの手法を学習、実践。

LEAF ローカルインストラクター研修
多層的に森林の役割を学ぶLEAF（Learning About Forests）のプログラムを学習、実践。

併せて、指導者実践の場として、「森の学校」を開催しています。森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが森林散策や木工体験等を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い市町主催のイベントが中止となったため、大型商業施設での開催を中心にこれまで 17 回実施しました。

開催にあたっては、感染症防止策の実施チェックシートを作成しイベント運営時に気を付けるべき事項を確認したうえで、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針』」や開催場所の対策基準に基づき消毒や参加者に対する体調確認等をチェックシートを用いて実施、参加者及びスタッフの検温等を行い実施しています。

また、感染症拡大の状況下でも森の学校を実施する試みとして、オンライン会議ツールを使用し、インターネットを通じて参加者が森林や木に関わる話を聞きながら木工体験を行う「森の学校オンライン教室」を開催しました。

森の学校 in イオンモール東員
（組子のコースターづくり）
森のせんせいと参加者の間にアクリル板を設置する、１体験ごとに机や道具を消毒する等の感染症対策を行い実施。

森の学校 in MieMu
（ミュージアムフィールドの
自然観察会、昆虫観察）
三重県総合博物館のフィールドで植物や昆虫の観察を、マスク着用による熱中症予防のため、水分補給や木陰での休憩をはさみながら実施。

第１回森の学校オンライン教室
「竹で水てっぽうを作ろう」
参加者に材料等を事前に送付し、Zoom を通じて森のせんせいが参加者に説明しながら竹を使った水てっぽうを製作。

森の学校実施計画と実績

	開催日	開催場所	内容	参加人数
1	令和２年 ７月23日（木）	オンライン（Zoom）	竹で水てっぽうを作ろう！	４名
2	令和２年 ８月１日（土）	イオンモール東員（東員町）	組子のコースターづくり	31名
3			貝がらちょうちょのブローチづくり	21名
4	令和２年 ８月８日（土）	三重県総合博物館（津市）	ミュージアムフィールドの自然観察会	15名
5			木や葉を使った工作	11名
6			小鳥のさえずりができる木の笛づくり	18名
7	令和２年 ８月９日（日）	三重県総合博物館（津市）	ミュージアムフィールドの自然観察会、昆虫観察	17名
8			貝殻と木の実を使ったフォトフレーム	33名
9			木のスプーンづくり	17名
10	令和２年 ８月10日（月）	三重県総合博物館（津市）	ミュージアムフィールドの自然観察会、昆虫観察	27名
11			木のコースター、メダルづくり	26名
12	令和２年 ８月30日（日）	イオンタウン伊勢ララパーク（伊勢市）	組子のコースターづくり	44名
13	令和２年 ９月５日（土）	イオンタウン伊勢ララパーク（伊勢市）	県産材の小物入れ	30名
－	令和２年 ９月27日（日）	三重県環境学習情報センター（四日市市）	秋のキッズエコフェアに出展	※中止
14	令和２年 10月３日（土）	イオンモール明和 （明和町）	クッブづくり	31名
15	令和２年 10月４日（日）	イオンモール明和 （明和町）	メッセージユニット作り	55名
－	令和２年 11月	尾鷲市民文化会館（尾鷲市）	尾鷲ヒノキふれあいフェスタに出展	※中止
－	令和２年 11月	紀和B&G海洋センター（熊野市）	紀和ふるさとまつりに出展	※中止
－	令和２年 11月７日（土）	名張市役所 （名張市）	とれたて！なばり2020に出展	※中止
16	令和２年 11月14日（土）	オンライン（Zoom）	三重県産の木でマイ箸づくり！	10名
－	令和２年 12月５日（土）	三重県立みえこどもの城（松阪市）	みえ子ども森の学びサミットに出展	※中止
17	令和２年 12月13日（日）	四日市市三浜文化会館（四日市市）	木のスプーンづくり	32名
18	令和３年 １月16日（土）	キャンプ inn 海山（紀北町）	炬火受皿組み立てと植樹	未実施
19	令和３年 １月24日（日）	かぶとの森テラス（亀山市）	炬火受皿組み立てと火おこし体験	未実施
20	令和３年 ２月６日（土）	三重県立ゆめドームうえの（伊賀市）	炬火受皿組み立てと木工体験	未実施

③ 学校教職員を対象とした研修の実施

学校での森林環境教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修を行いました。

開催日	講座名	開催場所	定員	受講人数
令和2年 10月30日（金）	学校教職員森林環境教育研修	三重県総合博物館	20名	6名

④ 森のせんせい等のネットワークの構築

森のせんせい等のネットワーク構築のため、北勢地域、中南勢・伊賀地域、尾鷲・熊野地域の３地域において座談会を開催します。5月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期しています。

⑤ 出前授業

市町で森林教育活動の予算化がなされていない場合、市町、学校、保育所等における取組を支援するため、学校等からの要望に応じて森林教育の指導者の紹介やプログラム作成等を行い、出前授業を実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大によりミエトイ・キャラバン等のイベントの実施が困難なため、代わりに当初10回予定だった出前授業の開催回数を増やして実施しています。

これまでに出前授業を12回実施しました。

四日市市立内部東小学校

整備されていなかった学校林を再活用するきっかけ作りとして、危険な植物や植物遷移の話をしたうえで、学校林の自然観察等を実施。

津市立西郊中学校

森林のはたらきと木材利用の話をしたうえで、間伐材を使った箸作りを実施。

出前授業開催実績

実施日	学校名	内容	実施状況
令和２年 ６月17日（水）	四日市市立内部東小学校	学校の森再生プロジェクト	実施済
令和２年 ６月25日（木）	四日市市立中央小学校	校庭の樹木観察	実施済
令和２年 ７月３日（金）	津市立西郊中学校	森のお話とマイ箸づくり	実施済
令和２年 ８月26日（水）	津市立村主小学校	森のはたらき	実施済
令和２年 ９月７日（月）	津市立橋北中学校	美杉産スギ間伐材のミニ机づくり	実施済
令和２年 10月15日（木）	伊勢市立上野小学校	森のお話と木工作	実施済
令和２年 11月10日（火）	伊勢市立佐八小学校	自然観察と木工作	実施済
令和２年 11月12日（木）	多気町外城田小学校	水道水源林のはたらきを知ろう	実施済
令和２年 11月25日（水）	南伊勢町南勢小学校	森のはたらきと木工作	実施済
令和２年 11月26日（木）	津市立大里小学校	森のお話と箸づくり	実施済
令和２年 11月30日（月）	多気町立佐奈小学校	森のお話と箸づくり	実施済
令和２年 12月14日（月）	四日市市立橋北中学校	校庭の木の樹名板づくり	実施済
令和３年 １月19日（火）	桑名市修徳小学校	森のお話と箸づくり	未実施
令和３年 ２月４日（木）	鈴鹿市庄内小学校	森のお話とものづくり	未実施
令和３年 ２月19日（金）、 ２月24日（水）	三重大学教育学部附属小学校	森のはたらきと林業の話	未実施
令和３年 ３月６日（土）	四日市市こどもの家	自然の循環のお話とヒノキのコサージュづくり	未実施

⑥ 森林教育活動のコーディネート

森林教育活動が予算化されている市町や、学校、保育所等の依頼に応じ、指導者の紹介等のコーディネート活動を行っています。

森林教育活動コーディネート実績

実施日	学校名	内容	実施状況
令和２年 11 月４日（水）	玉城町立下外城田小学校	マイ箸づくり	実施済
令和２年 11 月９日（月）	玉城町立外城田小学校	クッブ体験	実施済
令和２年 11 月９日（月）	玉城町立有田小学校	コースターづくり	実施済
令和２年 11 月 11 日（水） 11 月 17 日（火）	名張市立幼稚園・保育園 （6 園）	森や木のお話	実施済
令和２年 11 月 18 日（水）	伊勢市立上野小学校	森や林業のお話とスギのイスづくり	実施済
令和２年 11 月 26 日（木）	伊勢市立宮山小学校	森や林業のお話とヒノキの小箱づくり	実施済
令和３年 1 月 26 日（火）	桑名市立光風小学校	森のお話と木工作	未実施

⑦ 森林教育活動事例集

森林教育活動を行ううえでの参考として、学校等で取り組まれている活動を紹介する「森林教育活動事例集」を作成します。

令和２年度版は、11 月より掲載事例の募集を行い、３月に作成、配布を行う予定です。

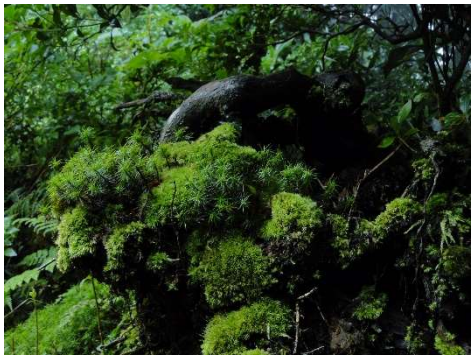
⑧ みえの森フォトコンテストの開催

写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテスト及び写真教室を開催しました。

第 7 回みえの森フォトコンテストでは県内の 18 歳以下を対象に、小学生以下の部と中学生以上の部の２部に分けて森林や、木と人の関わり等を撮影した写真を募集し、第６回を上回る 201 点の応募がありました。

第６回及び第７回みえの森フォトコンテスト入賞作品は県民ホールや大型商業施設等で展示しました。

第７回みえの森フォトコンテスト
小学生以下の部　最優秀賞作品
「森のかみさま」



第７回みえの森フォトコンテスト
中学生以上の部　最優秀賞作品
「足元の世界」

（上）みえの森フォトコンテスト入賞作品展示のようす

（右）こども森の写真教室チラシ
小中学生とその家族を対象に、森を散策しながら、プロの写真家のレクチャーを受けて写真を撮影するイベントを開催。

開催日	イベント名	開催場所	対象者	募集人数	参加人数
令和2年 8月2日（日）	こども森の写真教室	三重県林業研究所（津市）	小中学生とその家族	7組15名	5組11名
令和2年 6月1日（月） ～10月11日（日）	第7回みえの森フォトコンテスト	―	県内18歳以下	―	71名201点

（参考）これまでの「みえの森フォトコンテスト」応募状況

応募数＼年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
応募者数	小学生以下の部	10	18	14	26	27
	中学生以上の部	9	45	37	39	44
	合計	19	63	51	65	71
応募作品数	小学生以下の部	63	45	40	58	75
	中学生以上の部	28	53	60	86	126
	合計	91	98	100	144	201

みえの森フォトコンテスト入賞作品展示実績

	展示期間	展示場所
1	令和２年４月27日（月）～５月15日（金）	三重県庁１階県民ホール（津市）
2	令和２年５月24日（日）～６月１日（月）	三重県立熊野古道センター（尾鷲市）
3	令和２年８月１日（土）～８月11日（火）	イオンモール東員（東員町）
4	令和２年８月24日（月）～９月５日（土）	イオンタウン伊勢ララパーク（伊勢市）
5	令和２年９月28日（月）～10月４日（日）	イオンモール明和（明和町）
6	令和２年12月３日（木）～12月11日（金）	みえこどもの城（松阪市）

⑨ 三重県産の木のおもちゃを体験できる「ミエトイ・キャラバン」の実施

三重県産の木でできた木製遊具・玩具を「ミエトイ」と位置付け、それらを体験し、木の良さに触れてもらう場として「ミエトイ・キャラバン」を実施しています。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、大型の木製遊具の設置を中止して、定期的に消毒のできる、積み木やけん玉など小型の木製玩具を中心に展示、体験をこれまで５回行いました。

ミエトイ・キャラバンのようす（イオンモール明和）

小型の木製玩具を展示するとともに、三重県産の木製品カタログを配布して木製品の紹介を行った。体験者には木製玩具を触る前に手指消毒していただき、玩具自体も定期的にアルコールで拭き取る等消毒を実施。

ミエトイ・キャラバン開催実績

	開催日	開催場所	参加人数	備考
1	令和２年 ８月29日（土）	イオンタウン伊勢ララパーク （伊勢市）	数十名	森の学校と 同時開催
2	令和２年 ９月５日（土）	イオンタウン伊勢ララパーク （伊勢市）	数十名	森の学校と 同時開催
3	令和２年 ９月29日（火）	三重県林業研究所 （津市）	74名	社会見学に 合わせ実施
4	令和２年 10月３日（土）	イオンモール明和 （明和町）	約100名	森の学校と 同時開催
5	令和２年 10月４日（日）	イオンモール明和 （明和町）	約100名	森の学校と 同時開催
6	令和２年 11月16日（月）	三重県林業研究所 （津市）	18名	交流研修に 合わせ実施
－	令和２年 12月５日（土）	三重県立みえこどもの城 （松阪市）	中止	みえ子ども森の 学びサミット出 展

⑩ 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、県市町および教育委員会等を対象に森林教育活動や森づくり活動に必要な物品等の貸出をこれまでに 21 件行いました。なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染症対策として、大型木製遊具の貸出を停止しています。

（貸出物品）

・森づくり活動に必要な資器材（ヘルメット、チャップス、丸太切り台 等）

・森林教育用教材（映像「つかって元気に！」、森のはたらきパネル 等）

・森林教育用玩具（三重の木ふるさとかるた、尾鷲ヒノキの積み木 等）

（２）森林教育の教材の提供

小学校での活用が可能な教材として、小学５年生の社会科教科書に対応した副読本「三重の森林とわたしたちのくらし」を県内小学５年生に配布しました。また、三重県庁舎や森林公園等にも配架しました。

「三重の森林とわたしたちのくらし」では、わたしたちの暮らしと森林との関わりについて理解を深めていただくため、「森のはたらき」や「森林資源の循環利用」等の説明とともに、県内各地域の森林に関する事例を紹介しています。

（３）みえ子ども森の学びサミットの開催

森林教育の推進のため、森林や木のことを楽しみながら学んでいただくイベント「みえ子ども森の学びサミット」を松阪市にある三重県立みえこどもの城で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となりました。

令和２年度は出展者を県 HP に掲載して広く募集したほか、県政だよりや、テレビ・ラジオの県広報番組にてイベントの開催を告知していました。

資料５－２

森林環境教育・木育拠点施設整備事業

令和２年１２月末時点

１．　事業の目的

森林環境教育・木育を推進するため、森林環境教育の活動フィールドの整備や、県有施設等を改修し木製遊具の常設を行うなど、多くの県民がいつでも森林環境教育・木育を体験できる場づくりを行います。

２．　事業計画

令和元年度から令和３年度の３年間の計画で菰野町にある三重県民の森の自然学習展示館の一部改修工事を進めています。改修後は現在の展示・図書コーナーの機能も一部残しつつ、常設型の木製遊具等を設置し、森林教育（森林環境教育・木育）の総合拠点施設として多くの県民に利用してもらうことを目的とします。令和２年度から令和３年度にかけて、2 期に分け改修工事を実施します。

３．　改修内容

主に未就学児を対象に、木にふれ、木の良さを知ってもらうことを目的とした常設型の森林教育施設として改修を行います。施設内は「Feeling Zone」、「Play Zone」、「Learning Zone」に区分けし、年齢に応じた、木とのふれ合いや、森林や自然についての学習を行える空間づくりを行う計画となっています。

改修にあたっては三重県産の木材を使用することとし、建物に木材を多く使用するほか、靴を脱いで遊べる木の床のスペースや、もりぼーる、すべり台等の木製遊具を設置するなど、木を見て、体感できる施設にリニューアルします。

また、新たに授乳室やおむつ替えスペース、トイレ個室内にベビーチェアを設けるとともに、三重県民の森の利用者アンケートで要望の多いトイレの洋式化を行うなど、メインターゲットとなる未就学児とその保護者をはじめ来館者が利用しやすい施設に改修します。

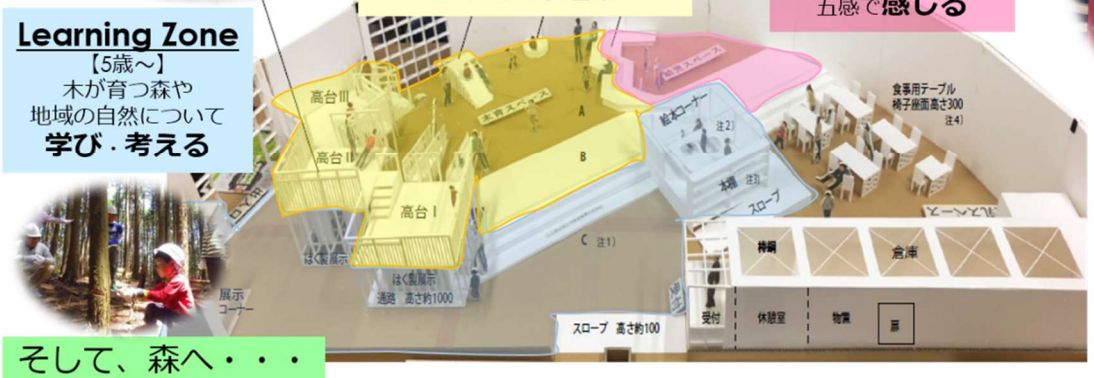
ここから始まる　木とのふれあい　森との出会い

幼児の頃から木に触れ、森を知り、地域の自然について学び考え、将来、郷土の自然を愛し、地域の森林を守り育てていく人を育む場として、三重県民の森の自然学習展示館を、安心して楽しみながら木に触れ木のぬくもりや質感を体感できる施設としてリニューアルします。

Play Zone
【3歳～６歳】
体と頭を使って木のおもちゃで
おもいっきり**遊ぶ**

Feeling Zone
【０歳～２歳】
木のぬくもりや質感を
五感で**感じる**

Learning Zone
【5歳～】
木が育つ森や
地域の自然について
学び・考える



そして、森へ・・・
実際に森に入り
観察したり、**体験**する

各zoneのコンセプト

	対象年齢	コンセプト	イメージ	必要な整備
木育ステーション	未就学児とその保護者	乳幼児が**安心**して **楽しみ**ながら 木に触れ、木を使って 木のぬくもりや質感を **体感**する	明るい 心地よい空間 地域の自然とつながる	明るい照明 窓から明かりが入る 空調 外の森が見える 地域（県産）の木材を使う
Feeling Zone	０歳～２歳	木のぬくもりや質感を 五感で**感じる**	安全 床に座る 衛生面 一人遊び 保護者同伴	転んでも痛くない床 素足で上がるスペース 角の取れた構造 保護者もくつろげる 掃除しやすい（汚れにくい）
Play Zone	３歳～６歳	体と頭を使って木のおもちゃで思いっきり **遊ぶ**	安全 立って遊ぶ のびのびできる 同年代との社会性	角が取れた構造 幼児サイズの遊具 目線に突起物が無い グループ遊びができる遊具 動ける空間（広さ）
Learning Zone	５歳～	木が育つ森や地域の自然について **学び**・考える	見本・標本から学ぶ 読む・観察する 他人から学ぶ	今ある標本・見本の活用 管理者の工夫で展示の模様替え可能な可動性のある展示スペース 壁も展示スペースとして利用 専門スタッフから学べる環境
そして森へ	－	森の中に入って、本物の自然の姿を知り、 **体験**する。	本物を体感	三重県民の森野外フィールドの活用

４．建設工事

工事は体験施設部分の改修を行うⅠ期と、玄関ホールやトイレ等を改修するⅡ期に分けて実施します。

Ⅰ期工事について、一般競争入札により、四日市市内の建設会社が落札し、８月より自然学習展示館の改修工事に着手し、内装工事及び大型木製遊具の設置等を行っています。

また、改修工事にあたっては、デザイン図面の作成に関わった三重県立伊勢工業高等学校建築科の生徒の学びの場として、見学の機会を設ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となりました。

【建設工事概要】

工事名：三重県民の森自然学習展示館改修工事（Ⅰ）

工事内容：内部改修工事　（手加工による大型木製遊具を含む）及びそれに係る建築工事、電気設備工事、機械設備工事一式

履行期間：令和２年８月 11 日から令和３年１月７日（150 日間）

施工場所：三重郡菰野町大字千草地内

業務委託料：４１，５０９，６００円（内税　３，７７３，６００円）

改修前の自然学習展示館

内装解体工事（９月）

大型木製遊具建込み（11 月）

内装及び大型木製遊具(12 月)

５．事業の広報

令和２年 12 月５日（土）開催の「みえ子ども森の学びサミット」において、当事業の概要説明及び伊勢工業高等学校建築科の生徒が作成した完成イメージ模型を展示する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止になりました。

なお、みえ森と緑の県民税事業の取組を紹介するため、令和２年 12 月８日（火）から令和３年１月 29 日（金）まで三重県立図書館で、令和３年１月 12 日（火）から１月 15 日（金）まで三重県庁県民ホールで実施する県民税事業パネル展示にて、当事業の取組を紹介します。

また、伊勢工業高等学校建築科の関わる取組として、令和２年 10 月 24 日(土)にイオン津で開催された「三重県産業教育フェア」で取組の紹介と完成イメージ模型の展示が行われました。

資料５－２

森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和２年 12 月末現在

１．事業の目的

県民が森林や緑と親しむ機会を創生するため、地域の NPO や団体、市町等と連携して、身近な自然公園の園地や歩道等を活用した森林教育イベントやガイドツアー等の取組みを推進するとともに、活動のフィールドとなる園地や歩道等の施設の安全確認や改修などを行う。

２．令和２年度事業進捗

１）森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーやイベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための自然教育と施設整備を行いました。

◆自然公園・自然歩道での取組状況

自然観察ツアー

ハイキングの状況

自然観察ツアー

ハイキングの状況

自然観察ツアー

ハイキングの状況

自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況

◆大杉谷登山歩道での取組状況

自然観察ツアー＆ボランティア整備

ガイドからの説明状況（森林教育）

自然観察ツアー＆ボランティア整備

ガイドからの説明状況（森林教育）

自然観察ツアー＆ボランティア整備

参加者による歩道の補修作業状況

自然観察ツアー＆ボランティア整備

参加者による歩道の補修作業状況

自然観察ツアー＆ボランティア整備

歩道補修（整備後）

自然観察ツアー＆ボランティア整備

歩道補修（整備後）

自然観察ツアー＆ボランティア整備

参加者によるゴミ拾い作業状況

（自然保護活動）

自然観察ツアー＆ボランティア整備

集められたゴミ

◆森林公園での取組状況

〇三重県民の森

イベント「親子で大工体験」

参加者による木製スロープ作成状況

イベント「親子で大工体験」

同時に行われたヒノキの皮むき体験状況

イベント「親子で大工体験」

老朽化した木製スロープ

イベント「親子で大工体験」

リニューアルされた木製スロープ

○上野森林公園

イベント「親子で大工体験」

参加者によるウッドデッキ作成状況

イベント「親子で大工体験」

同時に行われたヒノキの皮むき体験状況

イベント「親子で大工体験」

老朽化したウッドデッキ

イベント「親子で大工体験」

リニューアルされたウッドデッキ

森林教育実績及び予定

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月4日	16名	自然観察ツアー（菅島ハイキング）と魚釣り教室
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	志摩市	11月15日	１４名	自然観察ツアー（御座金毘羅山ハイキングと英虞湾遊覧）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	南伊勢町	11月29日	11名	自然観察ツアー（五カ所湾ハイキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	12月5日	９名	自然観察ツアー（菅島ハイキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	伊勢市	１月１７日（予定）	１５名程度	自然観察ツアー（朝熊山登山）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	伊勢市	２月１１日（予定）	１０名程度	自然観察ツアー（二見浦ハイキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び園地	南伊勢町	２月２８日（予定）	１５名程度	自然観察ツアー（五カ所湾ハイキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	９月１２，１３日	９名	自然観察ツアー（トレッキング）と ボランティア整備（歩道整備）
			９月２６，２７日	１２名	自然観察ツアー（トレッキング）と ボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
自然公園外	三重県民の森	菰野町	8月23日	２０名	イベント「親子で大工体験」（木製スロープ作成）
自然公園外	上野森林公園	伊賀町	9月20日	２５名	イベント「親子で大工体験」（ウッドデッキ作成）

3．『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

・自然観察ツアーや体験イベント（以下、イベントという。）の募集の際のホームページやチラシには、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように記載し参加者に周知を行っています。

・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行っています。

・イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもＰＲを行っています。

・施設整備の修繕が完了した箇所には、『みえ森と緑の県民税』により行われことが分かるようにロゴマークの焼印や看板を設置しています。また、今回リニューアルされた森林公園の施設については、県ホームページにイベントの状況や『みえ森と緑の県民税』を活用して取り組んだ事について情報発信を行っています。

・三重県立図書館で、事業の内容と取り組み状況についてＰＲを行っています。

◆イベント開催募集チラシでの周知状況

イベント募集チラシでの周知状況

チラシにロゴマークなどを記載

◆イベント開催時に配布したパンフレット

◆イベント開催中での周知状況

イベント開催中での周知状況

「みえ森と緑の県民税」のぼり旗を設置

◆施設整備を行った箇所の周知状況

施設整備を行った箇所の周知状況

「みえ森と緑の県民税」ロゴマークや看板を設置

施設整備を行った箇所の周知状況

三重県ホームページへの掲載

◆三重県立図書館での周知状況

事業の取り組み内容の周知状況

三重県立図書館

生物多様性推進事業

令和２年１２月末現在

１．事業の目的

県民全体で森林を支える社会づくりを進めるため、自然環境保全活動に取り組む団体を増やすと共に、様々な主体による自然環境保全活動の促進や生物多様性保全に関する普及啓発、自然環境保全上重要な地域の明確化等に取り組むことで、生態系ネットワークの形成を進め、森林生態系等の生物多様性の保全を推進します。

２．令和２年度の進捗状況

（１）生物多様性保全活動団体状況調査

様々な主体による生物多様性の保全に取り組むため、民間活動団体の活動実態及び必要な支援等を調査・整理しています。今後、調査結果を県ホームページに掲載する等により、企業とのマッチングに活用する等を検討しているところであり、団体の活動の拡大、取組を推進します。

（２）希少野生動植物種生息ゾーニングマップ作成

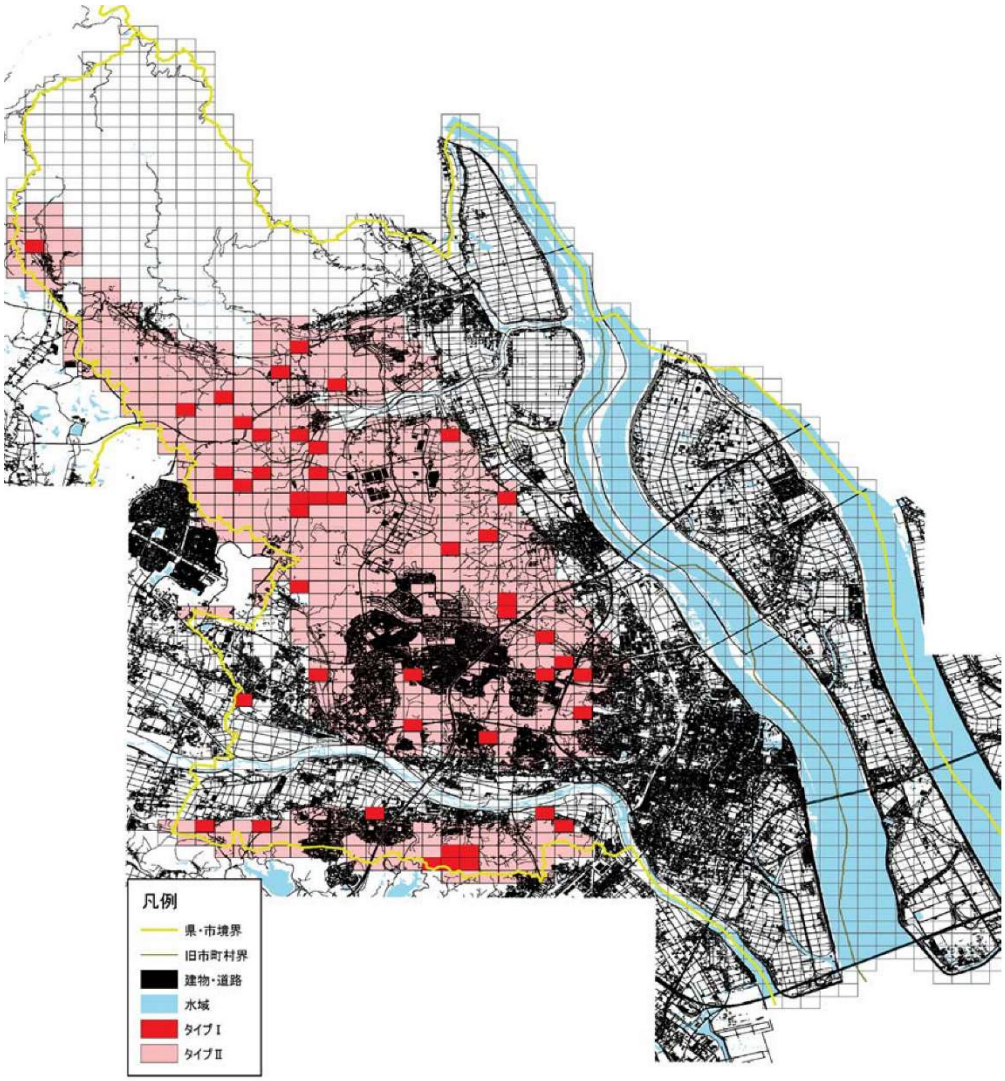
近年、自然エネルギーを利用した発電施設に伴う里地里山の消失など、自然地の開発による生物多様性の損失が懸念されています。県では、希少野生動植物種の数が多く認められる地域を「保全が必要なエリア」として明確化（ゾーニング）する取組を進めており、今年度は、太陽光発電施設の設置等により当該地域における消失が懸念される水生昆虫の生息地（湿地環境）について、ゾーニングマップの作成を進めています。今後、本ゾーニングマップを県ホームページに掲載することを検討する等、生物多様性を保全していく上で重要な地域を事前に周知することにより、事業者等による生態系への自主的な配慮が期待されます。

（３）希少野生動植物種等の生息状況調査

生物多様性推進施策に必要な希少野生動植物種に関する情報を把握するため、野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類：299 箇所）の生息状況調査等を実施します。（令和３年１月以降実施予定）

（４）生物多様性の普及啓発

生物多様性の保全を促進するため、保全活動を実施する際に、生物多様性アドバイザー等の専門家を派遣し、アドバイス等を共有するなど、活動の拡大、取組の推進を図っています（専門家４名を派遣）。また、生物多様性の保全に取り組むための方向性を示した「みえ生物多様性推進プラン」について、県民等への生物多様性への理解促進を図るため、その概要版を作成しているところであり、今後、自然観察会等のイベントにおいて、本概要版を配布し普及啓発に活用します。



ゾーニングマップイメージ図

湿地環境の指標生物（県指定希少野生動植物種ヒメタイコウチ）

みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業

令和２年12月末現在

１．事業の目的

子どもたちの健全な心身と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るため、野外体験指導者等と連携して、森林をフィールドとして子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶプログラム「自然環境キャンプ」を実施し、県内への展開を図ります。

２．令和２年度の進捗状況

（１）協議会の設置

自然環境キャンププログラムの展開を図るため、自然環境キャンプの実施を検討している、または取組に賛同する、野外体験事業者や森林教育活動を行っている方等で構成する協議会を設置し、自然環境キャンプに係る意見交換やプログラムの検証を行います。

協議会はオンライン会議を併用し、これまでに２回開催しました。

協議会の実施

回数	開催日	開催場所	参加人数	内容
第１回	10月7日（水）	三重県林業研究所及びオンライン	13名	事業の概要説明、感染症対策について等
第２回	12月9日（水）	オンライン	９名	第１～２回自然環境キャンプ実施結果の報告、改善点の検討、感染症対策について等

（２）モニター実施

令和元年度に作成した、森林をフィールドとして、子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶプログラムをモニター実施します。

令和２年度は県内各地で６回実施する計画で、これまでに２回実施しました。

自然環境キャンプ開催日程

回数	日程	開催場所	申込人数	参加人数
第１回	10 月 17 日（土）、 10 月 18 日（日）、 10 月 24 日（土）、 10 月 25 日（日）	三重県上野森林公園 （伊賀市）	37 名	10 名※
第２回	10 月 17 日（土）、 10 月 24 日（日）、 10 月 31 日（土）、 11 月　1 日（日）	三重県民の森 （菰野町）	35 名	10 名
第３回	1 月 16 日（土）、 1 月 23 日（土）、 1 月 30 日（土）、 1 月 31 日（日）	三重県民の森 （菰野町）	―	―
第４回	1 月 23 日（土）、 1 月 24 日（日）、 1 月 30 日（土）、 1 月 31 日（日）	三重県上野森林公園 （伊賀市）	―	―
第５回	2 月 13 日（土）、 2 月 14 日（日）、 2 月 21 日（日）、 2 月 28 日（日）	赤目四十八滝キャンプ場 （名張市）	―	―
第６回	2 月 13 日（土）、 2 月 20 日（土）、 2 月 27 日（土）、 2 月 28 日（日）	三重県民の森 （菰野町）	―	―

※第１回４日目は１名欠席し９名が参加。

２－１）プログラム

生きるために必要な技である、火を使うことをテーマに「めざせ！たき火マスター！」と題し、小学３年生から６年生までの子どもたちが、自然とふれ合いながら、枝や落ち葉を使った火おこしやたき火料理に挑戦する全４日間のプログラムを実施します。１日目、２日目はスタッフが子どもたちに「問いかけ」を行い子どもたち自身が答えを見つけ出せるように接しながら火おこしとたき火料理を行い、３日目、４日目は子どもたちだけで、計画した「夢のたき火料理」を試行錯誤しながら作るというように、４日間を通じて子どもたちが主体的に挑戦し、成長していく内容となっています。

令和２年度プログラムでは、令和元年度に実施した検討会の結果をもとに、実施者の負担軽減のために宿泊をなくす、プログラムを有料とした際の集客率やアンケート結果の変

化を把握するために参加費を設ける等、内容の一部変更を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、第１回、第２回においては、料理の具材はスタッフがカットし子どもは食材に直接手を触れないこと、竹で器を作り、一人分ずつに分けて調理することとしました。

２－２）参加者の募集

開催にあたり、「めざせ！たき火マスター！」の参加者募集について三重県ホームページ、および三重県上野森林公園と三重県民の森のホームページ、Facebook 等で告知しました。また、開催地周辺の小学校や、市役所、図書館などの公共施設等でチラシを配布・配架したほか、新聞、ラジオでも広報を行いました。

第１回は 37 名の応募、第２回は 35 名の応募があり、各回 10 名を抽選により選出しました。

第１回自然環境キャンプチラシ

２－３）実施

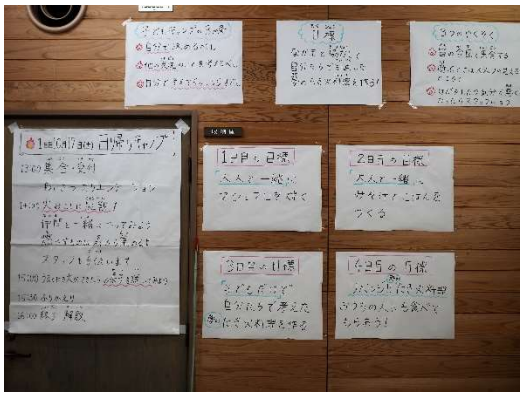
実施にあたっては、協議会の参加者が自然環境キャンプ実施日と開催場所を選定しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、協議会の参加者のフィールドでの実施が困難になった回については、昨年度自然環境キャンプを実施した三重県民の森で実施することとしました。

第１回自然環境キャンプは令和２年 10 月 17 日（土）から 10 月 25 日（日）にかけて菰野町の三重県民の森において、第２回自然環境キャンプは令和２年 10 月 17 日（土）から 11 月１日（日）にかけて伊賀市の三重県上野森林公園において開催しました。

第１回は、全体を通じて火おこしと火の維持に苦戦する形となり、どうすれば成功するか分かるものの、行動に移せない状態が続きました。また、子どもたちどうしでうまく協力ができず、一部の子が森に遊びに行く様子も見られました。しかし、３日目、４日目と進むにつれ、火おこしと薪の調達を役割分担して行えるようになり、子どもたちどうしで自然に協力ができるようになりました。火を維持するところでモチベーションが低下したり、うまく火が通らず苦戦したりする様子もありましたが、自然環境キャンプの前後で実施したアンケートではほとんどの子どもが前より出来るようになったと評価する等、子どもたちがたき火料理を通して成長を実感できる結果となりました。

第２回は、火おこしの経験者が数名参加していたため、序盤は経験者に頼りながらスムーズに火おこしを行っていました。経験者の子は、２日目に自主的にサポート役に回ったことで、他の初心者の子たちも失敗を重ねつつ挑戦し、違ったやり方で火をおこすことに成功しました。また、役割分担をして料理を作ったり、子どもたちどうしで積極的に話し合ったり、フィールドに残った竹でごみ箱を作ったりと、主体的に活動する様子が見られました。４日目には新たな挑戦をしようとして失敗することもありましたが、子どもたちだけで挑戦し色々なことをやり遂げることが出来た結果となりました。

第１回と第２回では子どもたちのモチベーションや協力の仕方などが全く異なる結果となりました。この結果を踏まえてモチベーションの無い子どもへの接し方や対応の仕方、アイスブレイクを多く行うことで子どもたちの積極性に差が出た等、森林をフィールドにして、より子どもたちの自主性を育むための課題や工夫を話し合い、第３回以降の実施に繋げることとしました。



キャンプのスケジュール

キャンプのスケジュール、目標、約束事を掲示。

火おこしに挑戦

マッチを使って木の枝や落ち葉に火を点けることに挑戦。

お菓子を焼いてみよう

おこした火でマシュマロを焼いてみる。

竹の食器づくりの説明

竹の性質や、竹で食器を作る方法、道具の使い方について説明。

竹の食器づくり

竹でご飯を炊く入れ物と汁物を煮る入れ物を作成。

たき火の注意事項の説明

火を扱ううえでの注意事項や、たき火マスターを目指すうえでの心構えを説明。

森で薪あつめ

森の中から火を燃やす材料となる木の枝や落ち葉を集める。

火おこし

自分たちで集めた材料を使って火をおこし、料理ができるくらいの火を維持する。

たき火でご飯と味噌汁を作ってみよう

自分たちで作った竹の器を使って、まずはご飯と味噌汁をたき火で作ることに挑戦。

夢のたき火料理の計画

ご飯と５種類までの具材を使った汁物という条件で、自分たちの作りたい料理を決め、料理方法を考え、「夢のたき火料理」計画を作成。

夢のたき火料理を作ろう

自分たちが計画した「夢のたき火料理」づくりに子どもたちだけで挑戦。３日目に挑戦したあと、どうすればもっと理想のたき火料理に近づくかを話し合い、４日目にリベンジたき火料理に挑戦。感染症対策のため食材はスタッフが１人分ずつに分けて用意。

振り返り

頑張ったことや上手くいかなかったことを振り返り改善点をまとめる。

たき火マスター修了証の授与

４日間かけてたき火料理をマスターした証として、たき火マスター修了証を授与。

２－４）アンケートの実施

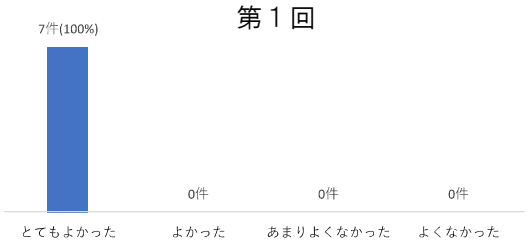
自然環境キャンプに参加した子どもの保護者を対象に、アンケートを実施しました。自然環境キャンプに参加した子どもの変化や今後の自然環境キャンプに対する要望等の質問項目を設けました。（一部任意回答あり。）

今後アンケートの結果をもとに、協議会においてプログラムの検証等を行います。

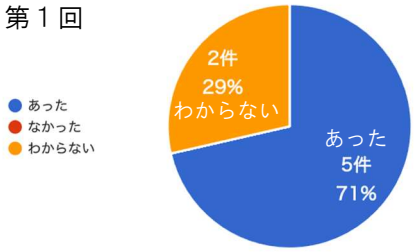
アンケート結果（一部抜粋）

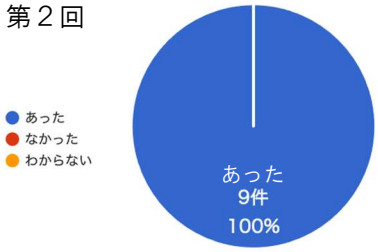
・回答率 84%（４日間全てに参加した 19 名中 16 名）

・自然環境キャンプに参加して良かったでしょうか。

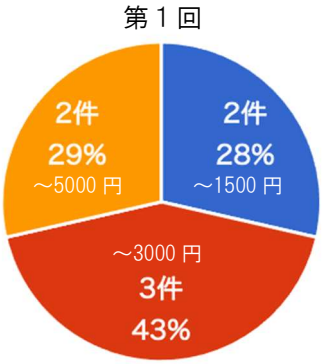


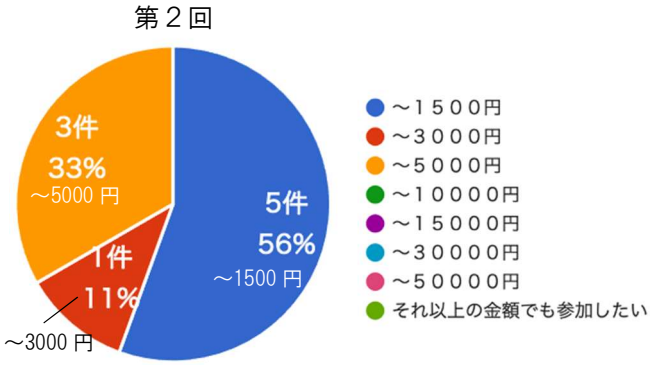
・キャンプから帰って、お子さんに成長はあったでしょうか。





・今回のプログラムはモニター実施のため参加費を 1,500 円としていますが、参加費がいくらまでなら参加できますか。（４日間の合計金額）



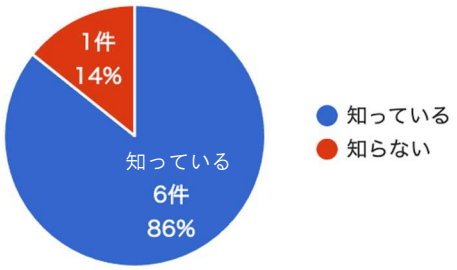


・今回の子どもキャンプ全体についてのご感想をお聞かせください。

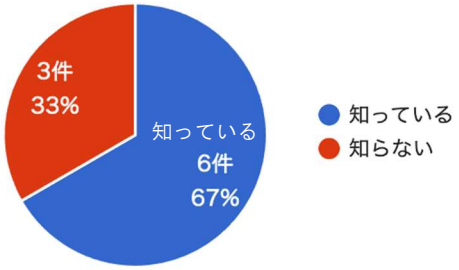
環境による条件があったがその中でも出来たこと出来なかったことがあった。次の機会にはこうしたいなど具体的な目標を作る事ができた。 楽しく学べた事が一番よかったと思う。
デイキャンプもとても良いですが、宿泊もあると更に自立心が養われるのではと思います（主催者は大変と思いますが)。また機会があれば是非参加したいです。
本人の意思で参加申込し、実際に参加して毎回とても楽しそうだったので本当に良かった。
子どもが楽しんで仲間と火おこしができたので、よかった。自信になったと思う。竹の器を作ることもできたし、普段学校や家ですることができない体験ができて、大変満足です。
材料集めが楽しかったです。火の番は、大変だけど、料理が美味しく出来て苦労した甲斐がありました
世間ではキャンプが流行っているが、うちではしたこともなくする予定もないので、教えてもらって自分でたき火が出来て参加できて良かったとおもう。
子供は本格的でとても面白かったようです。親はあんなに丁寧に長時間教えていただけて、すごくありがたかったです。
チームワークで取り組めたのがとても良かったと思います。また、ただ作るだけでなく、座学もあり意見交換できる時間もあったのが 一体感や成長に繋がったと思います。
内容が同じになりますが、子どもの自主性をそだてる　見守るということを主眼に置いた行事に参加する事ができ、とても良かったです 親がいるとどうしても　より良く　効率よくと　口が出がちですので　そういう点を見直すいい機会にもなりました お食事を作らせるにあたって色々お世話をしていただきありがとうございました。
初対面の子供たちと交流ができ、協力しながら過ごせたことが良い経験ができよかったと思います。 これで終了になってしまうのが少し寂しいです。
リーダーのおおたんの子供たちががんばって作ったご飯を子供たちに沢山食べてもらいたい想いをすごく感じました。本当に子供達のことを１番に考え寄り添って頂いたことにとても感謝しています。子供達も大人がいなくても、一人ではできないことも、協力すれば達成出来ることを体験し、これから先の人生で生かされることが必ずあると思います。参加させて頂いて素晴らしい体験をさせて頂き感謝で一杯です。みなさんありがとうございました。
大変お世話になりました。また、自然環境に関するワークショップなどがあれば参加したいです。
とても有り難く、何回でも参加したいです。
焚き火体験を始め、竹でのご飯炊き、竹でのお椀体験、野外料理等貴重な体験ばかりできて、普段と違う体験ができ、うれしく思っています。 また、一人で参加して不安だったみたいですが、自分から話しかけたり、話しかけてもらったり、友達ともたくさん交流を深めることができ、本人もお友達付き合いを学べたと思います。
毎回行くたびに色々なことを積極的に話してくれ、いつもならすぐに行くのが面倒くさがる子なのですが、4日間毎朝ヒヤヒヤしておりましたが１度も行きたくないとは言わず、最終日にはこんな習い事があればいいのにと言っていたのでこんなことは無かったのでとても成長を感じました。 最終日、失敗したご飯は少し凹んでいましたが親にも食べさせたくて２合にした結果だったと話してくれたのでいっぱいありがとうと伝えリゾットで食べてみようと言うことになりました。 カマキリも調べながら育てていたのですが針金虫がいたカマキリは長生きできないことを学んだようです。 とてもいい経験になりました。 ありがとうございました。
全行程参加型なのに試験で遅刻をしてしまうとわかったときは、最悪諦めようと子供と話していたのですが、遅刻で出席させていただけ、全行程心行くまで楽しめた様子でした。

・あなたは、「みえ森と緑の県民税」をご存じですか。

第１回



第２回



・みえ森と緑の県民税では、２つの基本方針「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿って５つの対策に取り組んでいます。５つの対策のうち、興味関心があるのはどの取組ですか。（2 つまで）

第１回

第２回

流域防災機能強化対策事業

「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」を進めていくため、山腹崩壊の発生源となる斜面上部の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある渓流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を、市町と県が連携して取り組み、流域の防災機能の強化を図ります。

＜事業対象区域＞

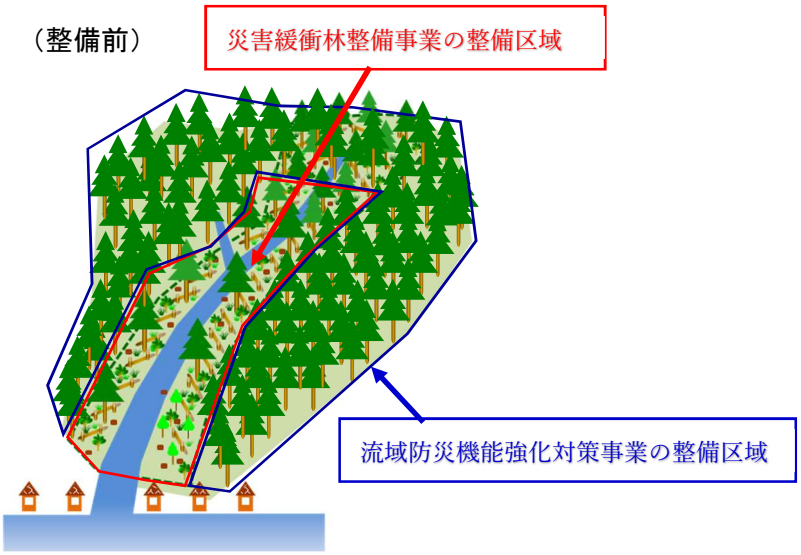
県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

＜事業の内容＞

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

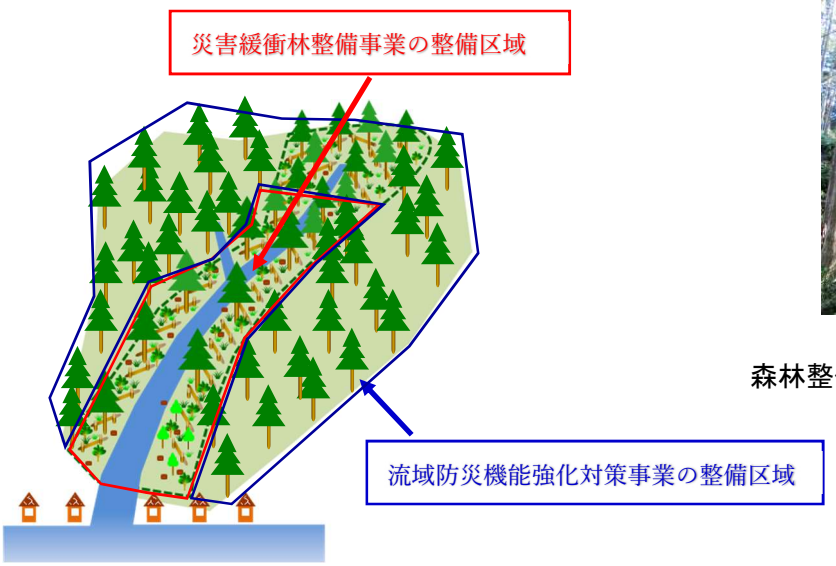
＜整備のイメージ＞

（整備前）



整備前のイメージ
根系や下層植生の発達が不十分

（整備後）



整備後のイメージ
森林整備の実施により、根系や下層植生が発達

流域全体の防災機能を強化

森林再生力強化対策事業

林業の生産活動による緑の循環を実現する中で、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能を高度に発揮させていくため、森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うＩＣＴ等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林の再生を妨げている野生獣による被害の抑制を図ります。

獣害防止施設等整備

＜事業の内容＞

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施

防護柵設置のイメージ

的確な獣害防止対策の実施

ニホンジカの捕獲等

＜事業の内容＞

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT 等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT 等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施

捕獲のイメージ
自動撮影カメラによる遠隔監視

効果的な捕獲による被害軽減

植栽地の確実な更新

令和2年度流域防災機能強化対策事業
実施状況

熊野市

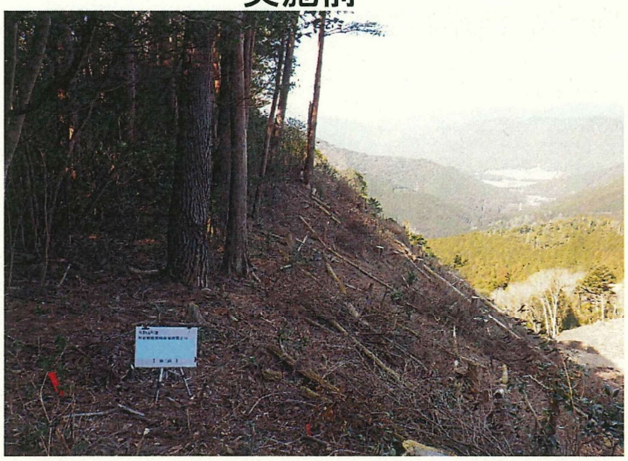
整備前

整備後

令和2年度森林再生力強化対策事業
実施状況

大台町

実施前



実施後

みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業
税事業PR状況

大紀町（看板設置）

大紀町（のぼり設置）

ポスター掲示（県立図書館）

ポスター掲示（県伊賀庁舎）

令和2年度　みえ森と緑の県民税市町交付金事業（連携枠）の進捗状況

R2.12.31現在

市町	流域防災機能強化対策事業			森林再生力強化対策事業（獣害防止施設等整備）		
	事業量（計画）	事業量（実施見込み）	進捗	事業量（計画）	事業量（実施見込み）	進捗
津市	77.14ha	64.00ha	実施中	11,200m	5,488m	実施中 補助済3,988m
松阪市	4.00ha	4.00ha	実施中 完了0.24ha	12,000m	5,332m	実施中 補助済5,332m
多気町	5.00ha	5.00ha	実施中			
大台町	143.62ha	80.69ha	実施中 契約済80.69ha	8,218m	4,464m	実施中
度会町	27.00ha	16.70ha	実施中 契約済16.70ha			
大紀町	15.00ha	9.10ha	完了	1,000m	1,272m	実施中
南伊勢町	2.00ha	0.00ha				
志摩市	9.61ha	9.61ha	実施中 契約済9.61ha			
伊賀市	44.00ha	25.15ha	実施中 契約済25.15ha			
名張市	30.00ha	19.65ha	実施中 契約済19.65ha			
尾鷲市	25.00ha	9.75ha	実施中 契約済8.58ha 完了1.17ha	900m	845m	実施中
紀北町	30.00ha	10.00ha	実施中	6,580m	4,123m	実施中 補助済3,773m
熊野市	22.06ha	17.59ha	実施中 契約済5.93ha	2,690m	2,687m	実施中
紀宝町	22.00ha	18.71ha	実施中			
計	456.43ha	289.95ha	契約済166.31ha 完了10.51ha	42,588m	24,211m	補助済13,093m

災害からライフラインを守る事前伐採事業

1　事業の目的

台風などの倒木被害により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採に、電力会社等のライフライン事業者と連携して取り組む市町を支援し、台風等に伴う大規模停電の未然防止などのライフラインの保全を図ります。

2　事業の必要性

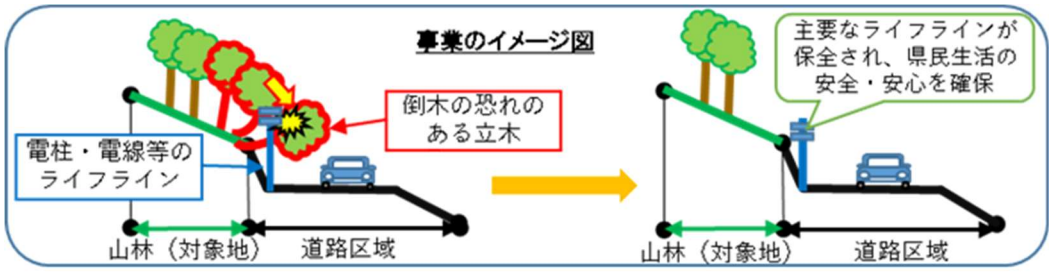
令和元年の台風 15 号では、千葉県を中心に大規模かつ長期的な停電が発生し、住民生活や地域の経済活動が滞ったうえ、市町の防災システムが機能しない等の甚大な被害が発生しました。また、三重県内においても、平成 30 年の台風 21 号では約 28 万戸で停電被害が発生し、特に山間部では、停電の原因の約 80％は倒木によるものでした。

このような被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、災害に強い森林づくりの一環として、市町や電気事業者等のライフライン事業者と連携して、「災害からライフラインを守る事前伐採事業」に取り組む必要があります。

3　事業の内容

停電等のライフラインへの被害を未然に防ぎ、県民の安全・安心な暮らしを守るため、ライフライン事業者と連携して、台風時などの倒木によりライフラインを寸断してしまう恐れのある樹木の事前伐採に取り組む市町に対して、県が事業費の一部を負担するなどの支援を行います。

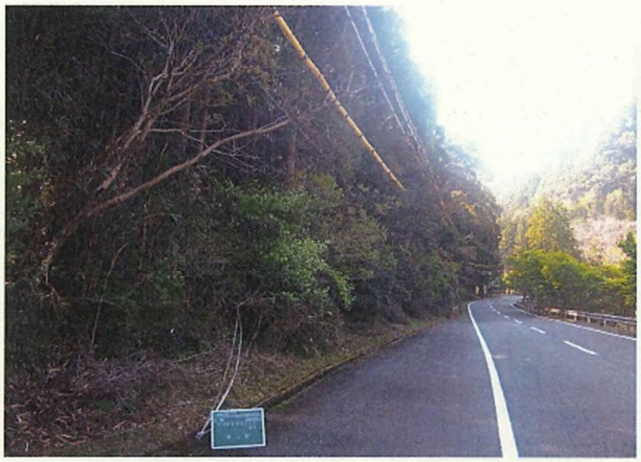
事業の実施にあたっては、市町・県・ライフライン事業者の三者で、相互の連携による事業の円滑な実施を目的とした協定を締結することとしています。また、この協定に基づき、三者が構成員となった協議会を設置し、市町が作成する事業計画についての協議や他事業との調整などを行い、事業を進めていきます。



令和2年度災害からライフラインを守る事前伐採
実施状況

大台町

実施前



実施後

松阪市

実施前

実施後

令和2年度災害からライフラインを守る事前伐採
実施状況

菰野町

実施前

実施後

県民税PR（伐採実施中　大台町）

県民税PR（報道取材　大台町）

資料５－２

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金事業（防災枠）の進捗状況

R2.12.31現在

市町	事業量（見込み）	事業費（円）	内示額（円）	進捗
四日市市	450本	4,000,000	1,000,000	三者協定調整中
菰野町	188本	1,600,000	400,000	三者協定済 実施中
津市	400本	4,000,000	1,000,000	三者協定済 実施中
松阪市	1,000本	8,400,000	2,100,000	三者協定済 実施中
大台町	1,089本	18,000,000	4,500,000	三者協定済 実施中
名張市	616本	4,000,000	1,000,000	三者協定済 実施中
計	3,743本	40,000,000	10,000,000	

みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨（以下「趣旨」と言う。）に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開するできるよう、市町にみえ森と緑の県民税市町交付金（以下「市町交付金」と言う。）を交付しました。

１．市町への配分方法

森林面積や人口を算定基礎として一定のルールに従って配分する「基本枠」と、森林面積が寡少（100ha 未満または森林率が 10％未満）な市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分する「加算枠」により、市町交付金を配分しました。

基本枠	均等配分（各市町へ均等に一定額（500 万円）を配分）と、人口配分（市町の人口割合に応じて配分）及び森林面積配分（市町の森林面積割合に応じて配分）の３つの配分方法を組み合わせて配分しています。
加算枠	森林面積が寡少（100ha 未満または森林率が 10％未満）の市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分しています。なお、加算枠の上限額は５ヵ年で 10,000 千円です。 令和２年度は事業計画申請に基づき、木曽岬町へ 10,000 千円を、明和町へ 1,000 千円を配分しました。

２．市町交付金の使い途

１）事業実施の３原則

次の３つの原則に従い事業を実施しています。

事業実施の３原則	
【原則１】	「2 つの基本方針と 5 つの対策」に沿った内容であること。
【原則２】	新たな森林対策として実施する新規又はこれに準ずる取組であること。なお、税導入以前から取り組まれている事業の場合は、新たな視点を取り入れた対策とすること。
【原則３】	直接的な財産形成を目的とする取組でないこと。

２）森林環境譲与税との関係

みえ森と緑の県民税と森林環境譲与税を活用した事業の相乗効果を期待し、双方を有効に活用するため、市町交付金と森林環境譲与税を同一事業に充当することなく取組を実施しています。

３）市町における基金設置について

市町は、次の見直しまでの期間、交付金事業の財源に充てるための基金を設置することができます。

３．県による市町支援

１）事前計画書にかかるヒアリングの実施

事業実施の前年度に、市町から県へ事前計画書が提出される際、県担当者が市町担当職員から直接、事業構築や事業方針にかかる聞き取りを行い、助言等を行いました。

２）市町担当者会議の開催

令和２年９月に、県内４か所において「みえ森と緑の県民税市町担当者会議」を開催し、令和２年度第２回みえ森と緑の県民税評価委員会において三重県知事あてにいただいた、令和元年度事業の実施後の評価・提言（答申）について説明しました。

また、本事業における対策区分の考え方や新型コロナ感染対策を踏まえた事業の進め方、情報発信の手法などについて、意見交換をしました。

【令和２年度みえ森と緑の県民税市町担当者会議の開催状況】

開催日	会場	参加市町数	参加人数 （県担当者含む）
９月 15 日	松阪会場	８市町	16 名
９月 16 日	尾鷲会場	５市町	12 名
９月 17 日	津会場	５市町	11 名
９月 17 日	四日市会場	10 市町	17 名

３）県事務所による支援

県事務所においては、本事業における市町の相談窓口として適宜、助言等を行っています。

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別一覧

市町名	対策区分	市町事業名	事業費（円）	財源区分 当年度交付金額（円） 基本枠	加算枠	当年度計	市町基金活用（円）	事業内容	実施状況
四日市市	4	認定こども園備品整備事業	9,784,200	9,784,200		9,784,200		市が実施する、認定こども園への木製備品（机・イス）の導入	実施中
	2	常盤中学校学校林整備事業（危険木除去）	1,495,000	1,495,000		1,495,000		市が実施する学校林における危険木の伐採等	未着手
	4	少年自然の家管理運営事業	5,792,600	5,792,600		5,792,600		市が実施する自然の家への木製備品（机・椅子等）の導入	実施中
	4	市民活動センター運営事業	937,200	937,200		937,200		市が実施する市民活動センターへの木製備品（机、イス等）の導入	実施中
	2	里山・竹林環境保全支援事業	2,000,000	2,000,000		2,000,000		活動団体による里山や竹林の整備に対する支援	実施中
	2	危険木等除去支援事業	1,000,000	1,000,000		1,000,000		自治会等が実施する通学路沿いの危険木の伐採等に対する支援	実施中
	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,000,000	1,000,000		1,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	未着手
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	992,000	992,000		992,000			未着手
		市町計	26,001,000	23,001,000	-	23,001,000	-		
桑名市	5	播磨２号緑地里山整備事業	430,000	430,000		430,000		市が実施する森林公園内の散策路整備等	実施中
	2	里山再生・竹林整備推進事業	4,500,000	4,500,000		4,500,000		活動団体による竹林整備に対する支援と市が活動団体に貸し出す竹チッパーの購入	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	8,703,000	8,703,000		8,703,000			－
		市町計	13,633,000	13,633,000	-	13,633,000	-		
鈴鹿市	2	暮らしを守る森林保全事業	1,001,000	1,001,000		1,001,000		市が実施する海岸林や人家周辺の病害虫被害木の伐採と樹幹注入、及び地元小中学生による植栽	実施中
	3	森林環境教育支援事業	100,000	100,000		100,000		市民団体が行う県産材を使った木工体験への支援	完了
	2	病害虫被害松特別伐倒支援事業	200,000	200,000		200,000		地区保全森林内の個人または団体が行う、病害虫被害木の管理に対する支援	未着手
	4	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	720,000	720,000		720,000		地域団体等が行う天然記念物等の樹木の樹木診断と樹木治療等に対する支援	未着手
	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,254,000	1,254,000		1,254,000		市が実施する、地域のシンボルツリーである長太の大楠の樹木診断と樹木治療等	実施中
	4	図書館木製備品購入及び森林環境啓発事業	4,500,000	4,500,000		4,500,000		市が実施する、図書館への木製備品（机・椅子）の導入	実施中
	3	森と緑の生涯学習事業	980,000	980,000		980,000		市が実施する公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催	実施中
	4	公立保育所及び公立幼稚園木製備品設置事業	6,848,000	6,848,000		6,848,000		市が実施する、保育所や幼稚園の木製備品（棚、下駄箱、遊具等）の導入	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	1,310,000	1,310,000		1,310,000			－
		市町計	16,913,000	16,913,000	-	16,913,000	-		
亀山市	2	暮らしに身近な里山・竹林環境整備事業	10,000	0		0		自治会等が実施する里山や竹林の整備に対して市が貸し出す機材の維持管理費	実施中
	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	7,687,000	7,687,000		7,687,000		市が実施する公共施設周辺や道路上の危険木の伐採等	実施中
	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	500,000	500,000		500,000		市が実施する「森の講座」と「木育教室」の開催	完了
	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,000,000	1,000,000		1,000,000		協議会が実施する山の日のイベント等の開催への支援	実施中
	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,475,000	1,455,000		1,455,000		市が実施する幼稚園や保育園等への木製遊具の導入	実施中
	4	森林環境教育・木育が行える場の整備	500,000	500,000		500,000		市が実施する、森林公園やまびこの休憩施設設置や八橋のリニューアル	実施中
		市町計	11,172,000	11,142,000	-	11,142,000	-		

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別一覧

市町名	対策区分	市町事業名	事業費（円）	財源区分 当年度交付金額（円） 基本枠	加算枠	当年度計	市町基金活用（円）	事業内容	実施状況
いなべ市	3	中学校卒業記念品配布事業	899,250	899,250		899,250		市が中学卒業生へ配布する市産材の箸の制作	実施中
	2	危険木の除去事業	3,000,000	3,000,000		3,000,000		自治会が実施する人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援	実施中
	5	森林・遊歩道整備事業	6,799,750	6,799,750		6,799,750		市が実施する、梅林公園への遊歩道整備とその周辺の森林整備	未着手
	3	森林環境教育支援事業	200,000	200,000		200,000		活動団体が小学校等で実施する森林環境教育活動への支援	実施中
	市町計		10,899,000	10,899,000	-	10,899,000	-		
木曽岬町		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	15,349,000	15,349,000		15,349,000			－
	市町計		15,349,000	15,349,000	-	15,349,000	-		
東員町	2	危険木伐採等業務	1,462,000	1,462,000		1,462,000		町が実施する人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等	完了
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,000,000	5,000,000		5,000,000			－
	市町計		6,462,000	6,462,000	-	6,462,000	-		
菰野町	2	病虫害被害木伐採搬出事業	3,200,000	1,600,000		1,600,000		土地所有者等が実施する病害虫による被害木の伐採等への支援	実施中
	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	28,175,400	6,769,000		6,769,000	4,447,000	町が実施するバリアフリー木道の整備	実施中
	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,600,000	400,000		400,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
	市町計		32,975,400	8,769,000	-	8,769,000	4,447,000		
朝日町	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	2,842,958	2,381,000		2,381,000		町が実施する、竹を活用したイベントやワークショップの開催	実施中
	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,500,000	1,200,000		1,200,000		町が実施する、子育て施設（あさひ園）の芝生の維持管理	実施中
	4	森と緑を大切に思う人づくり事業（幼保一体化施設）	44,000	40,000		40,000		町が実施する、子育て施設（あさひ園）への木製遊具の導入	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,000,000	2,000,000		2,000,000			－
	市町計		6,386,958	5,621,000	-	5,621,000	-		
川越町	3	川越中学校　自然教室	1,275,280	921,000		921,000		町が川越中学校の１年生を対象に実施する野外体験	未着手
	3	川越北小学校　自然教室	923,770	706,000		706,000		町が川越北小学校の５年生を対象に実施する野外体験	未着手
	3	川越南小学校　自然教室	710,920	527,000		527,000		町が川越南小学校の５年生を対象に実施する野外体験	未着手
	4	総合センター机・椅子等整備事業	3,076,200	3,063,000		3,063,000		町が実施する、総合センターへの木製備品（机等）や木製玩具の導入	実施中
	4	総合体育館荷物置き棚及び案内掲示板整備事業	238,700	238,000		238,000		町が実施する、体育館への木製備品（棚、案内掲示板）の導入	実施中
	4	中央公民館木製司会台等整備事業	368,500	368,000		368,000		町が実施する、中央公民館への木製備品（司会台等）の導入	実施中
	市町計		6,593,370	5,823,000	-	5,823,000	-		

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別一覧

市町名	対策区分	市町事業名	事業費（円）	財源区分 当年度交付金額（円） 基本枠	加算枠	当年度計	市町基金活用（円）	事業内容	実施状況
津市	2	津市林地残材搬出促進事業	30,450,000	30,420,000		30,420,000		事業体が実施する未利用間伐材の木質バイオマス利用のための搬出に対する支援	実施中
	3	津市森林環境教育事業	500,000	500,000		500,000		市が実施する「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催	実施中
	3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000	250,000		250,000		地元協議会が美里水源の森で実施する林業体験への支援	実施中
	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,000,000	1,000,000		1,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
		市町計	35,200,000	32,170,000	-	32,170,000	-		
松阪市	2	里山の森林安全安心対策事業	13,700,000	13,649,000		13,649,000		市が実施する集落や公共施設周辺の危険木の伐採等	実施中
	3	森林環境学習事業	2,900,000	2,900,000		2,900,000		市が小学校を対象に実施する森林環境教育活動	完了
	4	幼稚園木育推進事業	2,019,600	2,000,000		2,000,000		市が幼稚園で実施する木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ	実施中
	3	松阪の木魅力発信活動事業	300,000	300,000		300,000		地域団体が実施する「松阪フェス木バル」への支援	未着手
	5	都市公園整備事業	4,000,000	4,000,000		4,000,000		市が実施する、都市公園内への東屋の設置	完了
	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	12,000,000	3,000,000		3,000,000		市が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
		市町計	34,919,600	25,849,000	-	25,849,000	-		
多気町	4	木とふれあう環境づくり事業	5,010,000	5,010,000		5,010,000		町が実施する小学校や保育園への木製備品や木製玩具の導入	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,500,000	2,500,000		2,500,000			－
		市町計	7,510,000	7,510,000	-	7,510,000	-		
明和町	2	松林整備事業	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000		町が実施する海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等	完了
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	6,345,000	6,345,000		6,345,000			－
		市町計	7,345,000	6,345,000	1,000,000	7,345,000	-		
大台町	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	13,000,000	3,250,000		3,250,000		町が実施する、倒木被害により電力などのライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
	2	集落周辺等危険木伐採事業	8,400,000	7,983,000		7,983,000		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採	実施中
	3	森林環境教育事業	550,000	550,000		550,000		町が実施する、昴学園の生徒と共同でキノコ栽培の実践などの体験学習	実施中
	5	森とのふれあい空間整備事業	1,801,000	1,750,000		1,750,000		町が実施する、町有地の森林整備や歩道整備、木製ベンチの設置	実施中
		市町計	23,751,000	13,533,000	-	13,533,000	-		
伊勢市	2	森林整備事業	5,184,000	5,184,000		5,184,000		市が実施する海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等	実施中
	5	みなと小学校整備事業	6,106,000	6,106,000		6,106,000		市が実施する、新築の小学校の校庭の緑化	実施中
	4	みなと小学校家具製作事業	1,000,000	1,000,000		1,000,000		市が実施する、新築する小学校への木製備品（机・椅子・本棚）の導入	実施中
	3	豊かな心を育む「きらり☆体験活動」支援事業	1,226,000	1,226,000		1,226,000		市が実施する、小学校における自然体験授業	未着手
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	1,634,000	1,634,000		1,634,000			
		市町計	15,150,000	15,150,000	-	15,150,000	-		
鳥羽市	2	危険木伐採事業	8,183,000	8,183,000		8,183,000		市が実施する、人家裏や通学路等に隣接する危険木の伐採又は剪定	実施中
		市町計	8,183,000	8,183,000	-	8,183,000	-		

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別一覧

市町名	対策区分	市町事業名	事業費（円）	財源区分 当年度交付金額（円） 基本枠	加算枠	当年度計	市町基金活用（円）	事業内容	実施状況
志摩市	3	森と緑ふれあい事業	1,518,000	1,514,000		1,514,000		市が実施する、木工体験や森林にふれあう体験などの体験学習	実施中
	2	災害に強い森林づくり事業	3,685,000	3,684,000		3,684,000		市が実施する、人家裏や道路沿いの危険木の伐採	完了
	2	松くい防除事業	266,255	266,000		266,000		市が実施する松林公園や景勝地の松枯れや蔓延を防ぐための被害木伐採	未着手
	4	観光農園整備事業	1,771,000	1,771,000		1,771,000		市が実施する、公共施設への木製備品（ベンチとテーブル）の導入	実施中
	5	創造の森横山休憩所改修事業	3,408,900	3,088,000		3,088,000		市が実施する、山小屋の改修に伴う木製備品（什器等）の導入	実施中
	市町計		10,649,155	10,323,000	-	10,323,000	-		
玉城町	3	森林環境教育・木育事業	400,000	400,000		400,000		保育園や小学校での森林環境教育・木育の実施	実施中
	4	森林ふれあい創出事業	1,100,000	1,100,000		1,100,000		町が実施する、公共施設への木製ベンチ等の設置	実施中
	4	公共施設（学び場）整備事業	3,962,000	3,962,000		3,962,000		町が実施する、小学校の床の木質化と木製備品の導入	実施中
	1	みえ森と緑の県民税交付金事業森林防災（計画伐採）事業	752,000	752,000		752,000		町が実施する、防災・減災のための土砂や流木の除去と森林整備	未着手
	市町計		6,214,000	6,214,000	-	6,214,000	-		
度会町	3	森林環境教育推進事業	200,000	200,000		200,000		町が実施する、小学3年生を対象とした森林・林業に関する出前授業	未着手
	1	流倒木撤去事業	5,000,000	5,000,000		5,000,000		町が実施する、河川沿いの流倒木や堆積土の除去	未着手
	2	危険木伐採事業	3,000,000	3,000,000		3,000,000		町が実施する、生活道路沿いの危険木の除去	完了
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	526,000	526,000		526,000			－
	市町計		8,726,000	8,726,000	-	8,726,000	-		
大紀町	2	生活環境林整備事業	4,000,000	4,000,000		4,000,000		町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の除去	実施中
	1	渓流倒木等処理事業	4,000,000	4,000,000		4,000,000		町が実施する山間部渓流沿い等の倒木や流木の除去	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	3,327,000	3,327,000		3,327,000			－
	市町計		11,327,000	11,327,000	-	11,327,000	-		
南伊勢町	2	危険木除去事業	2,457,000	2,457,000		2,457,000		町が実施する、公共施設周辺や通学路、避難路等の危険木除去	実施中
	3	森林環境教育事業	180,000	180,000		180,000		森や緑について学び、森林や木材にふれあうことを目的とした木育教育の実施	未着手
	5	阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,879,000	8,879,000		8,879,000		町が実施する、公園へのウッドチップ舗装の実施	完了
	市町計		11,516,000	11,516,000	-	11,516,000	-		

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別一覧

市町名	対策区分	市町事業名	事業費（円）	財源区分 当年度交付金額（円） 基本枠	加算枠	当年度計	市町基金活用（円）	事業内容	実施状況
名張市	2	危険木伐採事業	3,000,000	3,000,000		3,000,000		市が実施する、公共施設周辺及び通学路等の危険木の撤去	実施中
	4	県産材に親しむことができる木育推進事業	1,416,000	1,416,000		1,416,000		市が実施する、公立保育園・公立幼稚園への県産材の机、椅子等の導入	実施中
	4	森と人をつなぐ憩いの空間作り事業	1,000,000	1,000,000		1,000,000		市が実施する県産材を活用した授乳スペースの整備	未着手
	3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	476,000	476,000		476,000		市が公立保育園及び幼稚園を対象に実施する、野外体験保育と上野森林公園内への木製備品導入	実施中
	5	森林公園等環境活用整備事業	780,000	780,000		780,000		地域づくり組織が実施する、公園等整備に対する支援	実施中
	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,300,000	1,300,000		1,300,000		搬出登録者が実施する、未利用間伐材の木質バイオマス利用のための搬出運搬への支援	実施中
	2	人家裏危険木伐採事業	2,281,576	1,500,000		1,500,000	781,576	地域住民による人家裏の危険木の伐倒に対する支援	実施中
	4	学校林整備事業	400,000	400,000		400,000		活動団体が実施する、学校林における遊歩道、広場等の整備への支援	実施中
	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000		100,000		学校単位の実行委員会が実施する、小学校における森林環境教育に対する支援	実施中
	5	桜並木保全管理事業	300,000	300,000		300,000		活動団体による桜並木保全活動に対する支援	実施中
	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,000,000	1,000,000		1,000,000		市が実施する、倒木等によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	実施中
	市町計		15,053,576	11,272,000	-	11,272,000	781,576		
伊賀市	3	親子ではじめる木育推進事業	2,624,000	2,624,000		2,624,000		市が実施する、出生児、一歳児、三歳児を対象に、写真立て、スプーン、筆の配布	実施中
	2	みんなの里山整備活動推進事業	6,500,000	6,500,000		6,500,000		自治会等が実施する、集落周辺の里山、竹林整備に対する支援	実施中
	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,500,000	3,500,000		3,500,000		実行委員会が実施する、小中学校における森林環境教育に対する支援	実施中
	3	地域の森と緑のつながり支援事業	975,000	975,000		975,000		協議会等が実施する森林関連研修等の開催と森林関連イベント開催に対する支援	実施中
	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,000,000	5,000,000		5,000,000		搬出登録者が実施する、未利用間伐材の木質バイオマス利用のための搬出運搬への支援	実施中
	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	700,000	700,000		700,000		事業体等が高校生と連携して行う、地域材を活用した木製品開発への支援	実施中
	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,000,000	0		0	1,000,000	市が実施する、倒木等によりライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採	未着手
	市町計		23,299,000	19,299,000	-	19,299,000	1,000,000		
尾鷲市	2	人家裏危険木伐採事業	1,566,000	1,566,000		1,566,000		住民による人家裏の危険木伐採に対する支援	実施中
	3	“森の国”尾鷲の自然環境人材育成事業	2,375,000	2,375,000		2,375,000		森林環境を理解する人材育成事業と小学校での森林学習会の実施	実施中
	3	クップ普及推進事業	1,377,000	1,377,000		1,377,000		クップ競技の普及推進に合わせた木育事業の実施	実施中
	4	木とふれあう学校環境づくり事業	239,000	239,000		239,000		市町交付金事業で導入した机・椅子の維持管理	実施中
	5	三木里地区憩いの場整備事業	1,200,000	1,200,000		1,200,000		市が実施する自然と安全にふれあえる環境づくり	実施中
	5	中村山公園整備事業	2,000,000	2,000,000		2,000,000		市が実施する中村山公園における森林整備の実施	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	1,487,000	1,487,000		1,487,000			－
	市町計		10,244,000	10,244,000	-	10,244,000	-		

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別一覧

市町名	対策区分	市町事業名	事業費（円）	財源区分 当年度交付金額（円） 基本枠	加算枠	当年度計	市町基金活用（円）	事業内容	実施状況
紀北町	1	河川周辺森林立枯木整備事業	12,600,000	6,634,000		6,634,000	5,500,000	町が実施する河川沿いの枯損木の伐採撤去	実施中
	2	危険木伐採事業	3,150,000	3,150,000		3,150,000		住民による人家裏の危険木の伐採に対する支援	実施中
	2	集落周辺森林（里山）整備事業	250,000	250,000		250,000		住民等が行う集落周辺等の荒廃した森林の整備に対する支援	実施中
	3	森林環境教育活動支援事業	1,000,000	1,000,000		1,000,000		小中学生を対象とした森林環境教育活動や木育活動の実施	未着手
	市町計		17,000,000	11,034,000	-	11,034,000	5,500,000		
熊野市	2	森林病害虫等防除実施事業	1,063,000	1,063,000		1,063,000		市が保安林内で実施する、松くい虫防除のための伐倒駆除とくん蒸処理等	実施中
	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3,525,000	3,525,000		3,525,000		市が実施する、森や緑と触れ合える公園等の整備	完了
	2	身近なみどり整備推進事業	1,600,000	1,600,000		1,600,000		住民、森林所有者等が実施する、集落周辺の危険木撤去に対する支援	実施中
	2	暮らしを守る危険木伐採事業	1,434,000	1,434,000		1,434,000		市が実施する、集落間を結ぶ生活道路沿いにおける倒木等の恐れのある危険木等の伐採除去	完了
	5	景勝林等保護事業	6,812,000	6,812,000		6,812,000		市が景勝林として管理する桜の木における大狗枝病患部の処置	実施中
	市町計		14,434,000	14,434,000	-	14,434,000	-		
御浜町	5	森林公園等環境整備事業	1,586,200	1,586,200		1,586,200		町が実施する住民に親しまれている身近な登山道と隣接する公園の整備	完了
	4	道の駅等木製看板設置事業	3,191,000	378,306		378,306	2,812,694	町が実施する道の駅への県産材の看板設置	実施中
	4	木製備品導入事業	1,000,000	1,000,000		1,000,000		民間事業者が行う県産材什器を活用した木育活用に対する支援	未着手
	4	中央公民館木質化事業	3,310,494	3,310,494		3,310,494		町が実施する公民館への県産材を活用した木製品の導入	実施中
	4	熊野古道道標等設置事業	3,300,000	800,000		800,000	340,306	町が実施する熊野古道への県産材を活用した看板の設置	実施中
	市町計		12,387,694	7,075,000	-	7,075,000	3,153,000		
紀宝町	3	森と緑の環境教育事業	800,000	800,000		800,000		町が実施する森や緑に関する講演会やワークショップ	未着手
	2	生活環境林整備事業	4,337,900	4,337,900		4,337,900		町が実施する公共施設の周辺や生活道路沿いの緑地における危険木等の伐採及び剪定	実施中
	5	クマノザクラ整備事業	330,000	330,000		330,000		町が実施するクマノザクラの植栽と適正管理	実施中
	4	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	968,000	968,000		968,000		町が実施する芝生広場への木製遊具と木製のテーブル・椅子の導入	実施中
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	899,100	899,100		899,100			－
	市町計		7,335,000	7,335,000	-	7,335,000	-		

資料５－２

みえ森と緑の県民税制度運営事業

令和２年 12 月末現在

１．事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知や評価委員会の設置・運営等を行うものです。

２．令和２年度事業進捗

１）みえ森と緑の県民税評価委員会の運営

令和２年７月に第１回評価委員会を、８月に第２回評価委員会を開催し、令和２年８月 27 日付け森緑評第７号によりみえ森と緑の県民税基金事業の実施後の評価について、答申を受けました。

１-１）委員の任命

令和２年 10 月１日から令和４年９月 30 日の２年間を任期として、次の 10 名を委員に任命しました。

委員氏名	所属団体等	分　野
石川 知明	三重大学大学院生物資源学研究科 教授	学識経験者
上ノ坊 淳	三重県小中学校長会　幹事	教育
大浦 由美	和歌山大学観光学部 教授	学識経験者
新海 洋子	一般社団法人 SDGs コミュニティ゛代表理事	NPO 活動
林 拙郎	三重大学名誉教授	学識経験者
藤井 恭子	皇學館大学現代日本社会学部 准教授	学識経験者
松井 寿人	三重県中小企業団体中央会 事務局長	商工
三田 泰雅	四日市大学総合政策学部　准教授	学識経験者
矢田 真佐美	三重県地域婦人団体連絡協議会 副会長	消費者
吉田 正木	吉田本家山林部 代表	林業

五十音順・敬称略 令和２年 12 月末現在

なお、令和２年９月 30 日までの委員は次のとおりです。

委員氏名	所属団体等	分　野
石川 知明	三重大学大学院生物資源学研究科　教授	学識経験者
大浦 由美	和歌山大学観光学部 教授	学識経験者
小林 慶太郎	四日市大学総合政策学部 教授	学識経験者
新海 洋子	一般社団法人 SDGs コミュニティ　代表理事	NPO 活動
林 拙夫	三重大学名誉教授	学識経験者
藤井 恭子	皇學館大学現代日本社会学部 准教授	学識経験者
松井 寿人	三重県中小企業団体中央会 事務局長	商工

矢田 真佐美	三重県地域婦人団体連絡協議会 副会長	消費者
山下 高弘	三重県小中学校長会　幹事	教育
吉田 正木	吉田本家山林部 代表	林業

五十音順・敬称略 令和２年９月末現在

１-２）評価委員会概要

【令和２年度第１回みえ森と緑の県民税評価委員会】

1　日時　令和２年７月 13 日（月）　14 時 00 分から 16 時 30 分

2　場所　三重県農協会館　５階　大会議室

3　出席委員　８名（欠席２名）

4　議題

（１） 令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業の実績

（２） 令和元年度市町別総合評価についての情報交換

5　会議の公開・非公開　　公開

6　傍聴者　16 名

【令和２年度第２回みえ森と緑の県民税評価委員会】

1　日時　令和２年８月 27 日（木）　14 時 00 分から 16 時 30 分

2　場所　三重県教育文化会館　５階　大会議室

3　出席委員　６名（欠席４名）

4　議題

（１）令和２年度第１回みえ森と緑の県民税評価委員会での意見

（２）令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価

5　会議の公開・非公開　　公開

6　傍聴者　10 名

令和２年度第２回みえ森と緑の県民税評価委員会の様子

２）みえ森と緑の県民税の普及啓発

ポスターの掲示や令和元年度事業成果発表会の開催などにより、令和元年度事業の成果や本県

民税の意義について周知を図りました。

２-１）紙面による広報

みえ森と緑の県民税の必要性と活用について掲載したポスターを作成し、市町及び県庁舎等で掲示しています。

県庁におけるポスター掲示の様子

みえ森と緑の県民税啓発ポスター

２-２）事業成果の広報

【みえ森と緑の県民税令和元年度事業成果発表会】

事業実施担当者が、事業成果を直接県民に報告するとともに、市町間の情報共有を図り、市町交付金事業実施の一助とするため、事業成果発表会を開催しました。

成果発表会の様子

成果発表会の案内チラシの内容

２-３）パネル展示

令和２年 12 月８日から令和３年１月 28 日まで、県立図書館において、みえ森と緑の県民税の制度や活用例を紹介したパネルを掲示しています。また、令和３年１月 12 日から１月 15 日まで県庁県民ホールにおいても同様にパネル展示を計画しています。

県立図書館における県民税事業を紹介したパネル展示の様子

２-４）アンケート調査

e-モニター制度を活用し、みえ森と緑の県民税にかかるアンケート調査を実施しました。調査結果は、ホームページで公表しています。

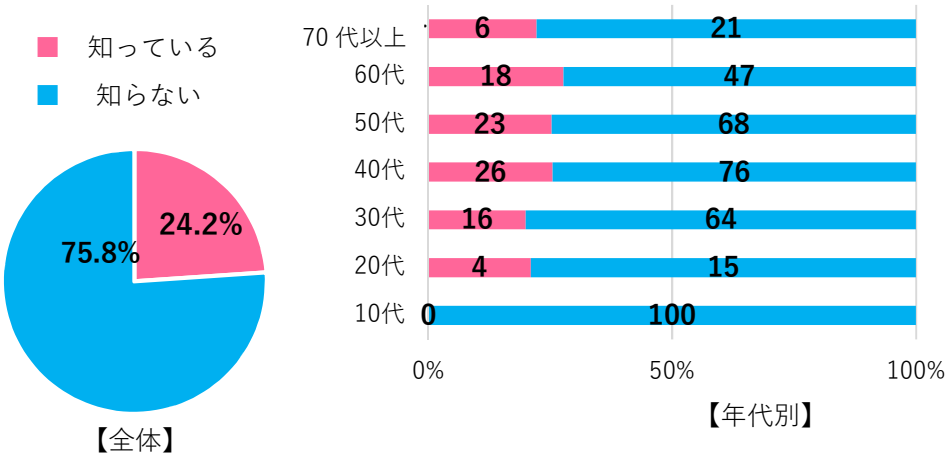
【みえ森と緑の県民税に関するアンケート】

１　実施期間　令和２年８月６日から８月 20 日まで

２　回答率等　40.4％（回数者 385 人/対象者 952 人）

３　設問と回答

（１）「みえ森と緑の県民税」は、個人と法人の県民税均等割に上乗せして納めていただいており、税額は、個人が年額 1,000 円、法人は資本金額に応じた県民税均等割の 10％相当額（年額 2,000 円～８0,000 円）です。あなたは、「みえ森と緑の県民税」が課税されていることをご存じですか。



図「みえ森と緑の県民税」の認知度

（２）「みえ森と緑の県民税」に対してあなたが抱くイメージについて、あてはまるものをすべて選んでください。「みえ森と緑の県民税」を知らない人は、その言葉から受けるイメージについて選んでください。

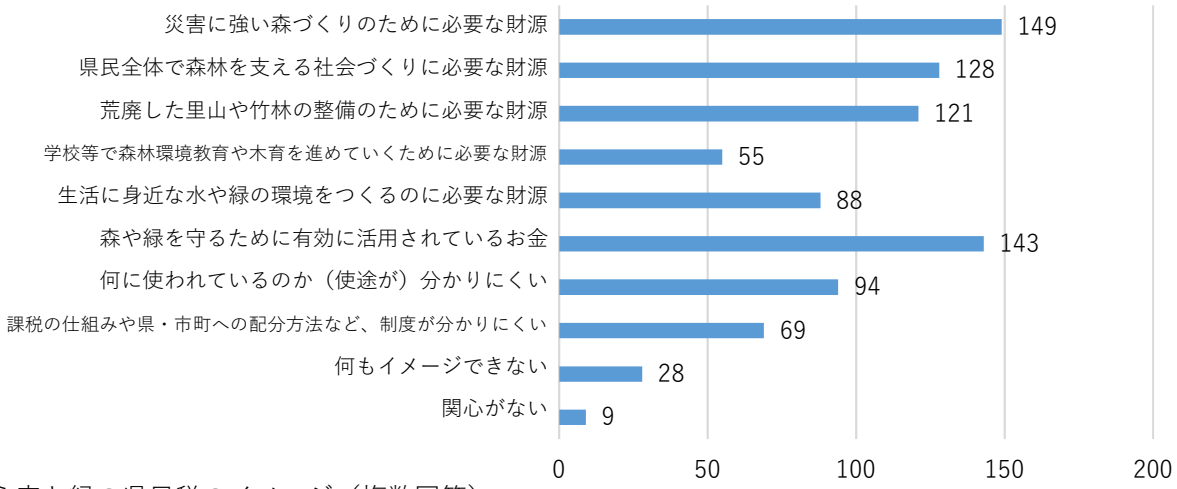
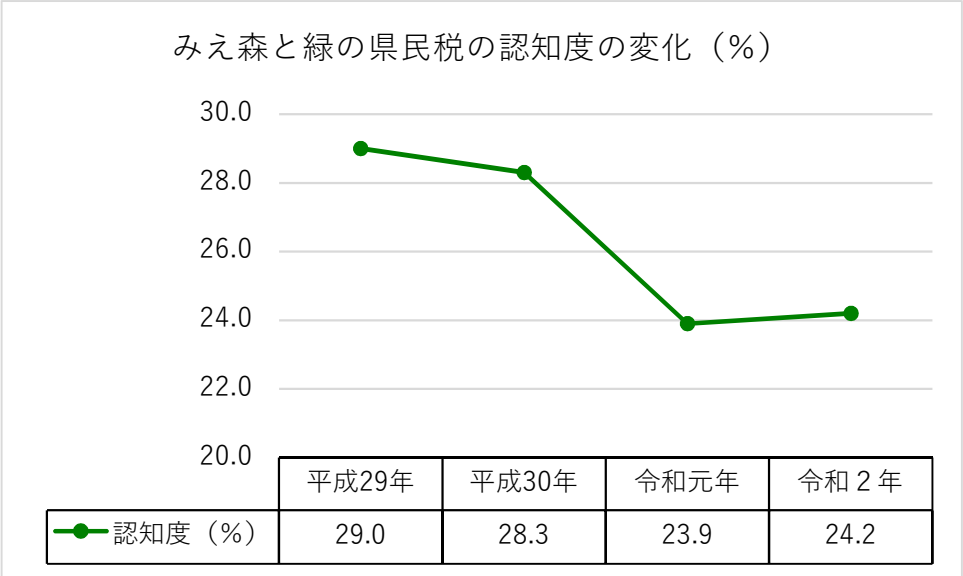



図　みえ森と緑の県民税のイメージ（複数回答）